

令和3年度使用

中学校教科用図書の  
選定に必要な資料

教科用図書益田採択地区協議会

各発行者の記号は以下の通りである。

A	東京書籍
B	大日本図書
C	教育図書
D	開隆堂
E	学校図書
F	三省堂
G	教育出版
H	教育芸術社
I	光村図書
J	帝国書院
K	大修館
L	啓林館
M	山川出版
N	数研出版
O	日本文教
P	学研教育
Q	自由社
R	育鵬社
S	学び舎
T	あかつき
U	日本教科書

# 選 定 に 必 要 な 資 料

種目名 : 国語 No. ( 1 )

記号	選定に必要な資料の観点						総括
	1 内容、程度、分量等	2. 教材の選択や構成等	3. 興味・関心への配慮等	4. 教科の特性、地域の実態や課題への適合等	5. 各教科及び実生活との関連についての工夫	6. その他	
A	<p>○「本編」「基礎編」「資料編」の3部で構成され、「基礎編」では言葉の力を身に付けるための資料が掲載され、「資料編」には学習に役立ち、学びを深化できる資料が掲載されている。</p> <p>○「読む」領域の学習材末の「てびき」では、学習の目標や活用例が明記され、学習に見通しがもてるよう工夫されている。(1年 p. 104)</p>	<p>○本編の「学びの扉」の内容を巻末の基礎編「学びを支える言葉の力」で深く学べるように工夫されている。(2年 p. 54、230)</p> <p>○「読む」領域では「いつものように新聞が届いた～メディアと東日本大震災」など社会的な話題となった事柄と関連する学習材が取り上げられている。(3年 p. 184)</p>	<p>○1年古典教材導入では、「浦島太郎」を取り上げ、身近な童話との関連を示し、今もなお親しまれる古典へ興味・関心を引き出す工夫がされている。(1年 p. 126)</p> <p>○オリジナルキャラクターや「学びの扉」での漫画の活用により、主体的な学びに導くよう工夫されている。(1年 p. 106)</p>	<p>○2年「ハトはなぜ首を振って歩くのか」など、文章と図表を結び付けて読むことを通して、生徒の「読む力」を育成するよう工夫されている。(2年 p. 55)</p> <p>○読書への招待、読書案内、著名人の読書のすすめ等、書籍紹介ページを設け、読書活動とともに、図書館利用や情報活用を促す工夫がされている。(1年 p. 287～291)</p>	<p>○他教科との関連があるページには、マークがついており、国語で学んだことを他教科の学習に生かすことができるよう工夫されている。(1年 p. 172)</p> <p>○巻末の「言葉を広げよう」では、表現の幅を広げるために役立つ言葉が一覧で記してあり、生徒の語彙を増やす手立てが講じられている。(3年 p. 399)</p>	<p>○二次元コードが記されており音声や映像を確認できたり、ゲーム感覚で問題を解いたり、家庭学習にも活用できる。(1年 p. 32、p. 130～336)</p> <p>○1年生最初の教材は文字や行間を大きくし、1年生への配慮がされている。また、1・2年では小学校6年の漢字問題が付され、小中連携が図られている。(1年 p. 14、222、2年 p. 226)</p>	<p>○レポートや新聞、手紙、多様な形式の話合いやスピーチ等を取り入れ、他教科の学習との連携や生活を支える言語能力の育成が図られるよう工夫されている。</p> <p>○巻頭カラーページや各単元の扉には、季節感のある写真、四季を味わう言葉や詩歌などを置き、感性を磨く場としての工夫がされている。</p>
F	<p>○本編と資料編の2部構成となっている。資料編では、実践的な方法や社会生活で役立つ知識がまとめてある。本編の「読む」領域では比較・仮定・関連付けなど情報整理の仕方について学びやすく配置してある。(1年 p. 28、74、190)</p> <p>○「学びの道しるべ」で学習の流れを示し、生徒の主体的な学びに繋がるよう工夫されている。(1年 p. 28)</p>	<p>○「読む」領域では各学習材に「読み方を学ぼう」を置き、3年間で22種類の読み方スキルを身に付けられるよう図示されている。(1年 p. 76、巻末)</p> <p>○2年「心を込めてわかりやすく書く」では、SNSを含む文字によるコミュニケーションについて考え実践することを通して、主体的に生活に生かすことができるよう工夫されている。(2年 p. 52)</p>	<p>○古典の学習では出典の作品成立時期を年表で示し、視覚的にとらえやすいよう工夫されている。(1年 p. 127)</p> <p>○各学年とも「歌の言葉」として有名歌手の1作品を載せ、言葉への興味・関心を持つよう工夫されている。(3年 p. 206)</p>	<p>○全学年の第6単元に、複数の情報を関連づけてながら現代の課題について考える学習を設定し、系統的に自分の考えを形成する力を伸ばしていくことができるよう工夫されている。(2年 p. 142)</p> <p>○全学年の巻末に「小さな図書館」という書籍紹介がされ、読書活動への興味関心を高める工夫があり、実際に「読む」領域の教材も幅広い分野の作品が掲載されている。</p>	<p>○各学年に「情報を関連づける」という単元が設けられ、複数の情報を関連づけて考えをまとめる学習活動が設定されている。</p> <p>○巻末の資料編に情報活用のページや、メモの取り方や話し合いの仕方、各種文章の書き方等の実生活に生かせる内容が網羅されている。</p>	<p>○「読書の広場」の二次元コードのリンク先には、参考になる図解が掲載され、学びを生かすことができるよう工夫されている。(2年 p. 255)</p> <p>○「日本文学名作集」として、各時代の代表的な作品とその冒頭を年表にもと理解を深めることができるよう工夫されている。(2年 p. 304)</p>	<p>○確かな言葉の力を身につけるために「読み方を学ぼう」という読み方スキルの学習を効果的に配置し、生徒の主体的な学びにつながるよう工夫されている。</p> <p>○古典の学習資料には写真や絵が多く取り上げられ、中学生を古典の世界へといざなう仕掛けが工夫されている。(1年 p. 116～125)</p>

# 選 定 に 必 要 な 資 料

種目名 : 国語 No. ( 2 )

記号	選定に必要な資料の観点						総括
	1 内容、程度、分量等	2. 教材の選択や構成等	3. 興味・関心への配慮等	4. 教科の特性、地域の実態や課題への適合等	5. 各教科及び実生活との関連についての工夫	6. その他	
G	<p>○各学年とも巻頭に「学ぶ内容と身につけたい言葉の力」・「教科書の構成」を記し、国語学習の概要をまとめられており、学習に見通しが持てるよう工夫されている。(p.6～11)</p> <p>○国連の「持続可能な開発目標(SDGs)」との関連を示し、社会・世界との関わりを考えさせるよう工夫されている。</p>	<p>○「学びのチャレンジ」では、幅広い文種の教材を用いて、図表やグラフ、文字以外の情報と文章を関連付けて読み、考えを形成して表現する活動に取り組むことができるよう工夫されている。(3年 p.208)</p> <p>○「読む」領域では、教材の「みちしるべ」で作品に対する読み深めや、自分の考えをもつことができるよう配慮されている。(2年 p.34)</p>	<p>○メディアと表現では漫画独自の表現方法を捉えることを目標とするなど、生徒になじみのある漫画を記載し、興味・関心を持つことができるよう工夫されている。(1年 p.226)</p> <p>○「読書への招待」では、近代文学作品を掲載したうえで、作者の人生や人物像を表や写真を用いて紹介しており、時代背景や作者の興味をもつことができるよう工夫されている。(1年 p.135～137)</p>	<p>○教材ごと、単元ごとに関連図書を紹介しており、並行読書を促すとともに、分野を網羅した読書活動へつなげるよう工夫されている。</p> <p>○「広がる本の世界」として、9回にわたって全90冊の本を紹介するなど読書活動につながる記載を多く取り入れている。(1年 p.28)</p> <p>○1年の言葉の小窓2「日本語の文字」では、平仮名、片仮名、漢字などの文字の成立の歴史を一度に理解できるよう工夫されている。(1年 p.166、264)</p>	<p>○情報化社会における情報活用のみならず、情報モラルの点で考えさせられる内容が読み物教材で取り上げられている。(1年 p.62、64、2年 p.84、3年 p.60、64)</p> <p>○巻末の「言葉の自習室」では、多角的に学習を深められるよう、「百人一首・十二支・原稿用紙の使い方」に関する情報が記されている。(1年 p.306)</p>	<p>○「ふるさとを巡る」では、文学にゆかりのある全国各地の風景を写真掲載し、作者や作品と共に確認できるよう工夫されている。</p> <p>○各学年の学習教材の中には「まなびリンク」が設定されており、補助資料や外部サイトで関連情報を知ることができる。(全学年 p.12)</p> <p>○教材冒頭の「学びナビ」で単元のポイントが分かりやすく説明されており、予習にも取り組みやすいよう工夫されている。</p>	<p>○教材冒頭の「学びナビ」で、単元の目標と学び方のポイントを確認して学習の見通しをもち、「みちしるべ」を参考にしながら学びを深め、「振り返り」で学びを自覚できるよう工夫されている。</p> <p>○国連の「持続可能な開発目標」の視点で教材が精選され、実社会における様々な問題を提起している。</p> <p>○「文法の小窓」、「言葉の小窓」では会話の形式を用いて、日常の題材から問題提起し取り組みやすくなるよう工夫されている。</p>
I	<p>○説明的文章の教材として「ダイコン」「だまし絵」など、図や絵を多く用いた教材を配置し、文章と図表を結びつけて読むことができるよう工夫されている。(1年 p.42～49)</p> <p>○1年「言葉を集めよう」や「語彙を豊かに」では語彙の質と量を高めるために多数の言葉が分類されて並べられている。(1年 p.80、300)</p>	<p>○1年生の最初に音読や発表の仕方、ノートやメモの取り方、辞典の使い方などの確認をしてから、中学校の授業に向けてえられるよう配慮されている。(p.16～20)</p> <p>○各教材の終末の「学習」は、振り返りとして「何ができるようになったか」を自分の言葉で書く設定となっており、理解したことを言語化できるよう工夫されている。(1年 p.50、51)</p>	<p>○古典導入の1年「古典の世界」では3年間で触れる古典教材の概略を紹介し、関心を持たせるとともに、現代と変わらないものの見方や感じることができるよう工夫されている。(1年 p.156)</p> <p>○レオナルド・ダ・ヴィンチの「最後の晩餐」を題材に、絵画を折り込みページで大きく掲載するなど、興味・関心をもって読み深めることができるよう工夫されている。(2年 p.171～174)</p>	<p>○巻頭折り込みページに「思考の地図」と題して、各学年の発達段階に適した思考ツールが紹介されており、学習で思考が深められるよう工夫されている。(p.9、10)</p> <p>○「学習の窓」では、汎用的な読みのポイントを図解しながらわかりやすく解説している。また巻末では、年間学ぶ読みの力を一覧にまとめて表示している。(1年 p.50、266)</p>	<p>○巻末には、下学年の漢字の一覧があり、特に1年では手書き風の書体で書かれた漢字が掲載され、漢字の定着に向けて配慮されている。(1年 p.258)</p> <p>○3年「実用的な文章を読もう」や「報道文を比較して読もう」では、情報伝達の工夫や相手意識を理解する学習を通して、論理的思考力や情報活用力を身に付けることができるよう工夫されている。(3年 p.62、64)</p>	<p>○「ことわざ・慣用句」では、人権的な配慮が必要な言葉もあることが明記されている。(3年 p.118)</p> <p>○3年では「日本文学の流れ」として、日本文学、国語史、外国文学、時代ごとの主な出来事が時系列で書かれており、日本文学の大流れを一目で掴めるよう工夫されている。(3年 p.278～283)</p>	<p>○「読むこと」教材の「学習」ページに一連の学習過程を示し、各単元で重点を置く過程を強調することで、身に付ける力を意識して学習が進められるよう工夫されている。</p> <p>○裏表紙には「色の名前」など(2年)、日本語の持つ言葉の豊かさ・美しさを身近に味わえるよう配慮されている。</p>

# 選 定 に 必 要 な 資 料

種目名 : 書写 No. ( 1 )

記号	選定に必要な資料の観点						総括
	1. 内容、程度、分量等	2. 教材の選択や構成等	3. 興味・関心への配慮等	4. 教科の特性、地域の実態や課題への適合等	5. 各教科及び実生活との関連についての工夫	6. その他	
A	<p>○基本単元では、「見つけよう」で文字から「書写のかぎ」を見つけ出したり、「生かそう」で「書写のかぎ」を他の文字に応用したりする活動を通して、思考力、判断力、表現力を養えるよう配慮している。</p> <p>○学習の流れや情報の軽重がわかりやすいようなレイアウトにし、紙面上の色の数や分量を抑制することで、生徒の集中を妨げないよう配慮している。 (p. 34～35、36～37)</p>	<p>○基本単元は、硬筆文字を題材に導入を図り、毛筆で書いて確認し、硬筆で他の文字を書くことで定着を図るといった展開で、硬筆と毛筆の関連を図っている。 (p. 36、50)</p> <p>○行書の特徴的な動きを四つに類型化し、行書の字形を形作る書字動作を意識しながら書けるようにしている。 (p. 32～39、50、52、56)</p>	<p>○巻頭の「書写で学ぶこと」「書写の学習の進め方」で、何を、どのように学び、何ができるようになるのかを考えることで、見通しをもって主体的に学習に取り組めるように配慮している。 (p. 2、4)</p> <p>○単元末の「振り返って話そう」では、学んだことを説明するという対話的活動を取り入れて、確かな理解につながる自己評価ができるよう促している。(p. 14、50)</p>	<p>○文字文化コラム「文字のいずみ」を設けて、文字の歴史や用具・用材・手書き文字と活字、社会の中で使われる手書きと文字など、伝統的なものから現代に生きるものまで幅広く取り上げ、文字文化を継承・発展させる態度を養うよう工夫している。(p. 19、28、40、48、61、72、84、94)</p>	<p>○国語や他教科の学習と連動している単元・教材には、教科書関連マークをつけて意識づけを図っている。D マークで関連する国語の教科書ページなどを見つけることができる。(p. 28)</p> <p>○活用単元「生活に広げよう」では、国語との連携を図り、手紙やポスター、本のポップ、パンフレットなど言語活動と関連する教材を積極的に取り上げ、学んだことを生かす力が身につくように配慮している。 (p. 26、64)</p>	<p>○学習者用デジタル教科書は、総ルビ・分ち書きで表示する機能を搭載している。</p> <p>○右利きでも左利きでも教材文字が見やすいように、原則として教材文字を上書きこみ欄の下に配置している。 (p. 36、38)</p> <p>○D マークのある単元では、教科書上の QR コードや URL からインターネットを活用して、教材文字の動画を見ることができる。授業の効率化に役立つよう工夫している。</p>	<p>○生徒自ら、課題を発見し、知識・技能の向上をめざすことができる。更に、「対話的な学び」を想定した振り返りが設定されている。</p> <p>○国語科の教科書と関連させると、学習効果が高くなると思われる。</p>
F	<p>○教科書冒頭に「基礎編」を設け、姿勢や用具の扱い方などを丁寧に解説している。 (p. 8～12)</p> <p>○各教材冒頭に「書き方を学ぼう」を設け、学習のポイントを明確に提示している。(p. 14、50)</p> <p>○巻末に「資料編」学習場面・社会生活での書字をサポートする例を豊富に示している。 (p. 82～128)</p>	<p>○各教材を見開き 2 ページで構成し、何を、どの順番で学習すればよいかをひとめでわかるレイアウトにしている。 (p. 38～39)</p> <p>○「目標」「書き方を学ぼう」「見つけよう・考えよう」「毛筆で書こう」「学習を振り返ろう」「書いて身につけよう」「振り返ろう」など、アイコンを配置し、学習活動の内容や流れが直感的に捉えられるよう工夫している。</p>	<p>○学習の見通しが持ちやすいよう、教科書冒頭で「学習の流れ」について解説している。(p. 5)</p> <p>○各教材に「目標」「振り返り」を設け、生徒自身が主体的に学習に臨めるようにしている。</p> <p>○各教材の「見つけよう・考えよう」や学習末教材の「やってみよう」では、生徒同士の対話を通して書写の学習を深められよう工夫している。</p>	<p>○文字の解説図版は、朱墨を使った 2 色使いや、筆の移動を示すマークなどを用いることで、視覚的に理解できるよう工夫している。</p> <p>○「基礎編」では、書写の学習に役立つ動画資料として、デジタルコンテンツを提供している。教科書に掲載している二次元コードを読み取ることで、硬筆・毛筆の姿勢や持ち方、筆の運び方、用具の扱い方など基礎的な内容を確認できるようにしている。 (p. 8、10、12)</p>	<p>○各学年末の「やってみよう」に国語との関連教材を配置することで、書写の学習内容を活用できるようにしている。 (p. 48、66、76)</p> <p>○他教科(数学、理科、社会、英語等)との関連教材を設け、教科横断的な学習ができるよう工夫している。</p>	<p>○毛筆で書いて習得したことを他教科の学習や日常生活・社会生活でも活用できるように、硬筆による書きこみページを全 10 教材分設けている。(p. 20～23)</p>	<p>○全般的に硬筆教材が多く、書き込みのページが充実している。点画の基本を学びやすい構成となっている。</p>

## 選 定 に 必 要 な 資 料

種目名 : 書写 No. ( 2 )

記号	選定に必要な資料の観点						総括
	1. 内容、程度、分量等	2. 教材の選択や構成等	3. 興味・関心への配慮等	4. 教科の特性、地域の実態や課題への適合等	5. 各教科及び実生活との関連についての工夫	6. その他	
G	<p>○各学年で、書初めや季節の行事での活用例を扱うことで、書写の能力が生活の中の様々な行事に生きていくことが実感できるようにしている。</p> <p>○中学校と小学校とで同じ図版を用いることで、既習事項に新しい学習内容を無理なく積み重ねていけるようにしている。</p>	<p>○日常生活や学習活動における生きてはたらく書写力が育成できるように、硬筆と毛筆を関連させ、毛筆学習の成果が確実に硬筆学習につながるように教材構成を考えている。</p> <p>○行書特有の筆使いを体験できるように、運筆のウォーミングアップを行う活動を設けている。(p.44)</p>	<p>○文字に関するコラムを豊富に設け、生徒の発達段階に応じて、歴史上の人物が残した文字などのテーマを設定し、文字に対する興味・関心を高める教材を設定している。</p> <p>○課題選択教材や補充教材集を設けることで、生徒自らが課題解決に向けて、主体的に取り組める構成になっている。</p>	<p>○AB判サイズにすることで、半紙形を維持した紙面となっており、教材文字に集中しやすくなっている。</p> <p>○毛筆教材の図版は、穂先のとおり道を朱墨で示すことで、筆使いが理解しやすいう工夫されている。</p>	<p>○「学習を生かして書く」「学校生活に生かして書く」では、習得した書写の力を、教科横断的な学習活動や日常生活に活用できるように関連を図っている。</p> <p>○日常生活との関連の深い「横書きの書き方」は、生徒の発達段階に応じて各学年で扱っている。</p>	<p>○「話し合い活動」や気づいたことを書きこむことができる書きこみ欄を随所に設けている。(p.12)</p>	<p>○毛筆の手本が、見開き右側にあり、生徒の机上では小さく思える。</p>
I	<p>○全教材に学習のポイントが一目でわかる「学習の窓」を設け、他の文字を書くときにも普遍的に活用できる基礎・基本、原理・原則を明確にしている。(p.40)</p> <p>○教材冒頭には、文字の原理・原則を考えたり話し合ったりする活動を設定し、対話を通して主体性や思考力・判断力・表現力を養えるよう配慮している。</p>	<p>○1教材1事項で構成し、学習のねらいを焦点化することで効率的に力をつけられるよう配慮している。</p> <p>○生徒が見通しをもって、主体的に学習に取り組むことができるよう、各教材は①考えよう、②確かめよう、③生かそうという展開が一目でわかる構成にしている。</p>	<p>○「私の好きな言葉」では、卓球の伊藤美誠選手や漫画家の小山宙哉さんの言葉を紹介し、生徒自らが夢を描き、それに向かって行動しようとする意欲が高められるよう工夫している。(p.104, 105)</p> <p>○限られた時間で効率よく学習できるように、主たる学習要素は大きく丁寧に、それに付随する要素は小さく簡潔に示している。学習のねらいが明確で大切なことがつかみやすい、メリハリのある紙面構成になっている。</p>	<p>○毛筆教材では、朱墨や筆使いを示す写真を用いて、筆脈や穂先の動きを把握しやすいう工夫している。</p> <p>○硬筆練習帳「書写ブック」を新設し、毛筆教材文字と同じ学習要素を持つ硬筆課題を豊富に設定している。硬毛の密接な関連を図りながら、毛筆での学習が硬筆で生きるよう工夫している。</p>	<p>○古典文学や短歌・俳句を書いて味わう「季節のしおり」や「名文を書いてみよう」、書初めなどの体験を通し、伝統的な言語文化への理解を深められるよう配慮している。</p> <p>○「目標を書こう」や「行書を活用しよう」ではノートや本の帯など豊富な作例を掲載し、書写で習得した知識・技能を、国語や他教科・学校生活に役立てる方法をイメージできるように工夫している。(p.50, 80~81)</p>	<p>○指導書付属DVDにある「お手本くん」を使うと、半紙手本・名前手本が教科書と同様の文字で簡単に作成できる。</p> <p>○教科書紙面にQRコードがある教材には、運筆動画や用具の準備・片付けの解説動画など、スマートフォンやタブレットを使って閲覧することができる豊富な動画資料を用意している。</p>	<p>○学習内容は大きく、付随する内容は小さく、紙面の構成でメリハリをつけている。</p> <p>○コラムや写真資料が豊富で、関心を高められる内容である。</p> <p>○国語科の教科書と関連させると、学習効果が高くなると思われる。</p>

## 選 定 に 必 要 な 資 料

種目名 : 社会・地理分野 No. ( 1 )

記号	選定に必要な資料の観点						総括
	1 内容、程度、分量等	2. 教材の選択や構成等	3. 興味・関心への配慮等	4. 教科の特性、地域の実態や課題への適合等	5. 各教科及び実生活との関連についての工夫	6. その他	
A	<p>○基礎的な内容が網羅されており、また文章表記も平易で読みやすい。</p> <p>○系統的に配置された「スキルアップ」は、地理的な技能や見方を高める上で効果的である。</p> <p>○「集める」「読み取る」「まとめる」のコーナーを追加することで技能の活用が効果的にできる。</p> <p>○「みんなでチャレンジ」を通してグループ学習等で対話的な活動に取り組むことができる。</p>	<p>○世界や日本の諸地域の学習では、それぞれ異なる視点で地域の特色をとらえることができる。</p> <p>○1時間ごとの「学習課題」が提示されており、その時間の学習内容を確認することができる。</p>	<p>○「チェック」や「トライ」で学習を深めたり、コラム「地理にアクセス」を読んで興味・関心を高めたりできる。</p> <p>○キャラクターの吹き出しによって、資料の読み取りの視点をもつことができる。</p>	<p>○領土問題として、写真付きで、竹島の概要が詳しく紹介されている。(p.26)</p> <p>○中国・四国地方の学習で交通網の発展として、浜田自動車道が取り上げられ、浜田駅と広島駅を結ぶ高速バスの写真が掲載されている。また、町おこしの例として、「地理にアクセス」のコーナーに、松江市の取り組みが紹介されている。(p.200、205)</p>	<p>○「分野関連マーク」や「他教科関連マーク」で他分野や他教科の学習とのつながりが分かりやすく示されている。</p> <p>○各章の巻頭ページにある、キャラクターのコメントを通じて、小学校で学習したことや単元の学習内容を確認することができる。</p>	<p>○判型をワイド版にすることにより、写真資料を豊富に掲載しながら、本文も充実させる工夫がなされている。</p> <p>○「日本の諸地域」では、各ページの同じ位置に地図を掲載し、他ページで学習したことや単元を比較することができるように工夫してある。</p>	<p>○基本的な学習にも、発展的な学習にも対応できる。</p> <p>○地図、写真等の資料が豊富で、補助教材がなくても教科書だけで十分な学習ができる。</p> <p>○「見方・考え方」「探求課題」「考える」のコーナーを系統的に配置し、課題意識をもって学習に取り組むことができる。</p>
G	<p>○本文がわかりやすく、生徒が課題を追求しやすい内容になっている。</p> <p>○単元ごとの「学習のまとめと表現」は基礎的な知識の定着ができるようになっている。</p> <p>○系統的に配置された「地理の技」や「地理の窓」は、地理的な見方や技能を高める上で効果的である。</p>	<p>○1時間の学習の見通しを持つように、見開きごとに「学習課題」が設けられている。</p> <p>○見開きごとにある「確認!」「表現!」で、知識の定着や言語活動の充実を図ることができる。</p> <p>○「日本の諸地域」では、始めの1時間でテーマをもって外観した後、2時間目以降に、各地方の特色をテーマに沿って追求する学習が進めやすい構成になっている。</p>	<p>○その時間に考えさせたい課題を、生徒役、先生役のキャラクターが「なぜ～なのだろう」と問うことで、意識しやすくなっている。</p> <p>○「世界の諸地域」の節末にある「地域から世界を考えよう」は、その地域と世界との繋がりやその地域の国際的な課題を、生徒が興味・関心をもってとらえることができるようになってきている。</p>	<p>○領土問題として竹島が取り上げられている。(p.25)</p> <p>○中国・四国地方の様子として出雲平野の築地松や石見神楽の写真が掲載されている。(p.189)</p> <p>○「人口減少と地域の悩み」の例として、三江線廃止後の代替バスの写真が掲載されている。また、「地理の窓」のコラムに益田市の「地域おこし協力隊員」の写真が掲載されている。(p.194、195)</p>	<p>○他分野や他単元で学習する内容を、ページの下段に分かりやすく示している。</p> <p>○各単元終末に配置されている「地域から世界を考えよう」や「現代日本の課題を考えよう」のページは、自分の暮らしと関連づけて、現代社会の課題をとらえることに有効である。</p> <p>○2018年や2019年の出来事や様子の写真が多く使われていて、実生活と関連して事象をとらえやすくなっている。</p>	<p>○判型をワイド版にすることにより、写真資料や読み物資料を豊富に掲載している。</p>	<p>○全体にテーマ性をもった内容構成になっている。</p> <p>○地理的な見方や技能を高めるための工夫が見られる。</p> <p>○地図、写真等の資料が豊富で、補助教材がなくても教科書だけで十分な学習ができる。</p>

## 選 定 に 必 要 な 資 料

種目名 : 社会・地理分野 No. ( 2 )

記号	選定に必要な資料の観点						総括
	1 内容、程度、分量等	2. 教材の選択や構成等	3. 興味・関心への配慮等	4. 教科の特性、地域の実態や課題への適合等	5. 各教科及び実生活との関連についての工夫	6. その他	
J	<p>○「日本と世界の地域構成」は10時間、「世界の様々な地域」は39時間、「日本の様々な地域」は59時間の配当時数となっている。</p> <p>○「技能をみがく」では地理の基礎的な技能が身に付けられるように、「資料活用」では資料に関する問いかけや作業内容が示され、主体的に学習に取り組めるよう工夫されている。(p.5、36)</p>	<p>○内容ごとに、「学習課題」と「確認しよう」、「説明しよう」を設け、見通しと振り返りができるよう配慮されている。また、本文横に補足説明や「解説」を設け、学習を深めることができるよう工夫されている。(p.2、3)</p> <p>○章・節の末尾には、「章(節)の学習をふり返ろう」を設け、論理的な説明や、多面的・多角的な考察に取り組めるよう配慮されている。</p> <p>○自然→歴史・文化→農業→工業→生活の流れで節の構成が統一されている。</p>	<p>○世界・日本の各州・地域の単元冒頭の大きな写真や、人々の営みが見える写真が随所に配置され、学習意欲・関心が高まるように構成されている。</p> <p>○学習に関連のある話題を取り上げた「地理プラス」や環境・防災・共生がテーマの「未来に向けて」で、学習への興味・関心を高めたり、学習を深め広げたりすることができるよう配慮されている。(p.3、57)</p> <p>○キャラクターの吹き出しによって、資料読み取りの気づきとなるよう工夫されている。</p>	<p>○竹島の写真と地図(位置図)が掲載され、隠岐の島町への所属と島根県への編入、韓国の不法占拠と日本が抗議し、話し合いを呼び掛けても応じないことが記述されている。また、昔の竹島の漁業の写真を掲載し、竹島の日にも触れられている。(p.20、21)</p> <p>○東京にあるアンテナショップ、石見銀山、そろばん、出雲大社、石見神楽、浜田自動車道、石見神楽継承者の話、観光客数の変化、文化財と伝統文化を生かす取組が掲載されている。(p.22、187、198、199)</p>	<p>○小学校や他分野との関連部分には、分野と内容が示されている。(p.2)</p> <p>○それぞれの地域の実社会の人々の具体的な話を取り上げた「声」や、都市と農村の交流などを取り上げた「地域の在り方を考える」のコーナーを設け、学習内容を身近な問題としてとらえられるよう工夫されている。(p.62、202)</p>	<p>○地理的な見方・考え方と地理的分野の学習の全体像について、写真を用いてわかりやすくガイダンスができるよう配慮されている。(巻頭7)</p> <p>○学習の理解を助ける動画サイト、コンテンツにつながる二次元コードが多く掲載され、学習を広げ深められるよう工夫されている。(p.3、13)</p> <p>○判型をワイド版にすることにより、写真資料や読み物資料を豊富に掲載している。また、光を反射しにくい用紙が使用されている。</p>	<p>○単元ごとに設定された「問い」を受けて単元末に見方・考え方を働かせたまとめで、知識・技能や思考力・判断力・表現力を身に付け、学習を自分の生活に生かすことができるよう配慮されている。(p2、13)</p> <p>○表見返してSDGsについて触れ、関連した環境・防災・共生の3つのテーマをコラムで特設し、現代的な諸課題を意識して学習を進められるよう配慮されている。(巻頭1、2、p.57、69、97)</p>
O	<p>○「日本と世界の地域構成」は10時間、「世界の様々な地域」は34時間、「日本の様々な地域」は58時間の配当時数となっている。</p> <p>○「スキルup」で、地理の学習で育てたい技能を6種類に整理し、系統立てて習得できるよう工夫されている。(p.4)</p>	<p>○内容ごとに、見方・考え方を示した「学習課題」「確認」「深めよう」を設け、見通しと振り返りができ、学習内容を深めることができるよう配慮されている。(p.68、69)</p> <p>○単元末の学習のまとめでは、学習内容の理解を深める主体的・対話的な問いやシンキング・ツールの活用等を促している。(p.81、105)</p> <p>○第3編では、第1章から第4章まで、学習を有機的に結び付けられるよう工夫されている。</p>	<p>○学習に関連のある話題を取り上げた「地理+α」や、具体的な課題を調べる「チャレンジ地」で、興味・関心をもって学習の理解を深めたり、広めたりできるよう配慮されている。(p.21、151)</p> <p>○単元の最初に写真とともに三択クイズを取り入れ、学習への興味・関心が高まるよう工夫されている。(p.44)</p>	<p>○竹島の地図(位置図)と写真が掲載され、島根県への編入の経緯と韓国が不法に占拠するまでの経緯、日本が平和的な解決を目指していることが記述されている。また、「出張竹島展」の写真も掲載し、竹島資料室についても触れられている。(p.19)</p> <p>○出雲大社、海士町の「島留学」について記載されている。(p.179、188)</p>	<p>○単元の最初やページ下に、小学校の学習との関連が示され、他分野との関連がある箇所には、他分野の学習を促したり、ふり返ったりする記述がなされている。(p.1、2、166)</p> <p>○それぞれの地域に住んでいる人の話や、巨大地震に備える過疎地域を取組などを取り上げた「自由研究」のコーナーで、学習内容を身近な問題としてとらえられるよう工夫されている。(p.186、190)</p>	<p>○地理的な見方・考え方について、表見返してイラストを交えてわかりやすくガイダンスできるよう工夫されている。(巻頭II、III)</p> <p>○「デジタルマーク」の表示してあるページでは、巻頭の二次元コードに関連するサイトや動画などで学習を広げ深められるよう工夫されている。(巻頭VII)</p> <p>○判型をワイド版にすることにより、写真資料や読み物資料が豊富に掲載されている。</p>	<p>○内容ごとに着目する見方・考え方を掲載した課題を設定し、単元のまとめでは、さまざまな思考ツールで技能や思考力、判断力・表現力を身に付けることができるよう、配慮されている。(p.188~191)</p> <p>○地球的課題や地域の課題などをコラムで取り上げたり、日本の諸地域をSDGsで振り返ったりするなど、現代的な諸課題を意識して学習を進められるよう配慮されている。(p.104、246、262)</p>

# 選 定 に 必 要 な 資 料

種目名 : 社会・歴史的分野 No. ( 1 )

記号	選定に必要な資料の観点						総括
	1. 内容、程度、分量等	2. 教材の選択や構成等	3. 興味・関心への配慮等	4. 教科の特性、地域の実態や課題への適合等	5. 各教科及び実生活との関連についての工夫	6. その他	
A	<p>○写真や図表などが大きく見やすく、文字の行間に余裕があり読みやすいように工夫されている。また、本文の内容と写真や図表に同じ番号をつけ、関連を理解しやすいようにされている。</p> <p>○見開き2ページを1タイトルとし、全101タイトルで構成されている。</p>	<p>○各章に単元の課題が示され、各節に「探究のステップ」として問いが設けられており、段階を踏みながら単元をまとめる方法が取られている。(p. 58～61)</p> <p>○各時間のページに学習課題として追究内容の見通しが示され、ページの下部分に基礎的、基本的な内容を確認した上で学習課題に取り組む流れが示されている。</p>	<p>○章の初めには、各時代をつかむために歴史上の人物をキャラクターにし、当時の絵図や復元のイラストを用いて興味・関心を高めるよう工夫されている。</p> <p>○「みんなでチャレンジ」という項目が設けられ、グループで協力しながら対話的な活動から課題が追究できるよう工夫されている。</p>	<p>○古代の終末でコラム「現代に生きる神話」の中で古事記、日本書紀を深める内容として出雲神話と佐陀神能について記述されている。(p. 54～55)</p> <p>○明治時代の「国境と領土の確定」の他「独立の回復と55年体制」の側面に竹島の島根編入についての歴史的背景や不法占拠について記されている。(p. 178, 180, p. 258～259)</p>	<p>○分野関連を示すマークが掲載されて、地理・公民との関連がわかる工夫がされている。また、他教科の関連についてもマークが用いられ、二次元コードから各教科の該当作品などを閲覧できる。</p> <p>○「歴史にアクセス」など、コラムでは「伝統・平和・災害・人権」など各分野のマークが示され、社会との関連性を意識できる工夫がされている。(p. 87, 240～243等)</p>	<p>○二次元コードから各時代にまとめられたサイトにアクセスできる。サイトの中には説明動画やクイズ、他教科の関連する教科書のページを見ることができる。</p> <p>○各章のまとめの活動では様々な学習方法が示され、グループ活動や個人での学習の事例が豊富に示されている。(p. 60～61等)</p>	<p>○各分野や各教科との連携を意識させる構成になっており、人権問題など現在につながる歴史的事象について多面的・多角的にとらえる工夫がなされている。</p> <p>○教科書のはじめで歴史的な「見方・考え方」の働き方を示し、より深い学びへ導くための方法が説明されている。(p. 12～13等)</p>
G	<p>○文字の行間や写真などの資料の間隔を広くとり、読みやすく、見やすい構成になっている。</p> <p>○見開き2ページを1タイトルとし、全100タイトルで構成されている。</p>	<p>○各節ごとに問いが設けられ、時間ごとの学習課題を通して節をとらせる流れとなっている。</p> <p>また、時間ごとに基礎的・基本的な内容を確認し、学習をまとめる構成となっている。</p> <p>○各章の終末においては、日本と世界の年表を用いて時代を比較し、時代を大観させ、まとめる項目が設けられている。</p>	<p>○小学校での学習をふまえ歴史すごろくにチャレンジするページが設けられるなど、興味・関心を引き出す工夫がされている。(p. 2～6)</p> <p>○タイトルの上部分に時代スケールが設けられ、学習する時代が色で示されている。また、タイトルにその時代を象徴する言葉が用いられており、興味・関心をひくものとなっている。</p>	<p>○「銀で結びつく世界」というテーマで石見銀山についてコラムで取り上げられている。世界との貿易で銀がどのような役割を果たしていたのか説明されている。(p. 106, 127)</p> <p>○竹島に関する記述が本文にあり、「隣国と向き合うために」というコラムで当時の様子や現状について取り上げられている。(p. 176, 268)</p>	<p>○巻頭の「私たちにつながる歴史」で伝統文化、政治参加などをテーマに写真や絵図から今と昔を比較させ関連性を意識させるものとなっている。</p> <p>○「歴史を探ろう」という特設ページでは、14のテーマのもとリサイクルや政治参加の視点などから当時の様子と現在の暮らしとのつながりを考える項目となっている。(p. 140等)</p>	<p>○二次元コードから各章ごとにまとめられ文庫や国会図書館などのデータベースにアクセスでき資料や動画などを閲覧できるようにしている。</p> <p>○巻末には、江戸時代の産業と交通、世界地図の歴史といった資料が示されている。(巻末①④)</p>	<p>○「歴史を探ろう」や「歴史の窓」など学習を深める特設ページが多く設けられ、多面的・多角的に歴史をとられる工夫がなされている。</p> <p>○章末には古代、中世とのつながりを意識させる問いが設けられており、時代の変化に注目できよう絵図や資料を用いて、まとめの工夫がなされている。(p. 58, 94等)</p>

# 選 定 に 必 要 な 資 料

種目名 : 社会・歴史的分野 No. ( 2 )

記号	選定に必要な資料の観点						総括
	1 内容、程度、分量等	2. 教材の選択や構成等	3. 興味・関心への配慮等	4. 教科の特性、地域の実態や課題への適合等	5. 各教科及び実生活との関連についての工夫	6. その他	
J	<p>○生徒たちが歴史的分野の学習を進めていく上で、適当な内容や分量の教科書である。文字だけではなく、写真や絵画、イラスト等の図版も大きく、視覚から情報を読み取りやすい。</p> <p>○1時間の学習内容を概ね見開き2ページでまとめている。</p>	<p>○歴史学習の導入として、歴史の流れや時代区分をわかりやすくまとめている。身近な地域の歴史の調べ方やまとめ方等について、仙台市を例に示している。</p> <p>(p. 2～11)</p> <p>○見開き2ページを使った「タイムトラベル」は、それぞれの時代のイメージをふくらませるイラストになっている。</p> <p>(p. 34～35等)</p>	<p>○写真や絵画、イラスト等の図版が大きく、コラムや特設ページ「歴史を探ろう」等も充実している。特に「昆布ロードと北前船」では、「鎖国」下にあっても広くアジア交易が活発だったこと等、興味深い内容となっている。(p. 130～131)</p> <p>○近代史の中では、当時子どもたちの作文や日記等が多く掲載され、歴史を追体験できるような工夫がされている。</p> <p>(p. 234等)</p>	<p>○「新たな外交と国境の画定」や「歴史を探ろう」の中で、竹島の経緯について記述されている。</p> <p>(p. 179, 267)</p> <p>○荒神谷遺跡の銅剣、四隅突出型墳丘墓、石見神楽、ラフカディオ・ハーン、森鷗外といった、地域ゆかりの文化財や人物が取り上げられている。</p> <p>(p. 205等)</p>	<p>○「結桶から見る技術の発達」や「一大ブームとなった和算」など、「歴史プラス+」という48ものコラムが充実し、それぞれの時代を深くとらえることができる。</p> <p>(p. 82等)</p> <p>○環境、交流、人権、平和をテーマにした「未来に向けて」というコラムが充実している。特に現代につながる人権課題の他、国連における持続可能な開発目標 (SDGs) の視点から多くのコラムが記述されている。</p> <p>(p. 83等)</p>	<p>○二次元コードから、コンテンツにアクセスできるようにになっている。</p>	<p>○室町時代の文化では、雪舟とともに山口市内にある瑠璃光寺や常栄寺が写真で取り上げられる等、大内氏についての記述が充実している。益田市や鹿足郡の生徒たちが、益田氏や吉見氏等、地域史について深く学ぶ上でリンクさせることができる。(p. 90)</p> <p>○写真や絵画、イラスト等の図版も充実し、内容や分量も適当である。子どもたちの作文や日記などを通して、歴史を追体験できるような工夫がされている。</p> <p>(p. 234等)</p>
M	<p>○フォントを小さくすることで文字数を多くし、歴史的事象について詳細に記述されている。写真や絵画、イラスト等多量用し、全体として情報量が多くなっている。</p> <p>○1時間の学習内容を概ね見開き2ページでまとめている。</p>	<p>○歴史学習の導入として、歴史の流れや時代区分がわかりやすくまとめられている。身近な地域の歴史の調べ方やまとめ方等について、東京都荒川区を例に示している。</p> <p>(p. 5～13)</p> <p>○見開き2ページを使った「8世紀の世界」や「13世紀の世界」等は、学習する日本史の内容と同時期の世界の様子について、イラストを多用しながら地図上でわかりやすくまとめている。</p> <p>(p. 49等)</p>	<p>○「中国の記録に見る日本列島」や「日本の植民地」等、「歴史へのアプローチ」に概ね見開き2ページを割いている。本文中では詳細に記述できなかった内容について解説することで、歴史への興味や関心を高める工夫がされている。</p> <p>(p. 32～33等)</p>	<p>○「地域からのアプローチ」では見開き2ページを割き、福岡や広島、沖縄等、地域史の視点を通して歴史をとらえられるよう工夫されている。</p> <p>(p. 58～59等)</p> <p>○「歴史へのアプローチ」の中で、竹島の経緯について記述されている。(p. 267)</p> <p>○石見銀山や森鷗外といった、地域ゆかりの文化財や人物が取り上げられている。(p. 113等)</p>	<p>○「木綿栽培」や「砂糖」等のコラムを通して、歴史を深く理解させることができる。(p. 97等)</p> <p>○「歴史へのアプローチ」の中で、琉球文化やアイヌ文化について詳述される等、日本列島に生きる人々の多様性に気づかせるような構成になっている。</p> <p>(p. 88～91)</p>	<p>○「玉音放送」等、二次元コードを通して、当時の音声や新聞記事にふれることができる。</p> <p>(p. 249等)</p>	<p>○各章の導入において、日本史と世界史の年表を見開き2ページでまとめ、各時代のように写真を写し、世界の動きとの関連が意識できるように工夫されている。(p. 62～63等)</p> <p>○フォントを小さくすることで文字数を多くし、歴史的事象について詳細に記述されている。資料も充実し、全体として多くの内容がまとめられている。</p>

# 選 定 に 必 要 な 資 料

種目名 : 社会・歴史的分野 No. ( 3 )

記号	選定に必要な資料の観点						総括
	1. 内容、程度、分量等	2. 教材の選択や構成等	3. 興味・関心への配慮等	4. 教科の特性、地域の実態や課題への適合等	5. 各教科及び実生活との関連についての工夫	6. その他	
O	<p>○AB 判で写真や図表が大きく見やすく配置されており、時代ごとの様子をうかがえる資料が使用されている。また、基本用語や人物について関連づけ説明されている。</p> <p>○見開き2ページを1タイトルとし、全90タイトルで構成されている。</p>	<p>○編ごとに「めあて」が設けられ、単一時間では学習課題と歴史的な見方・考え方が示され、振り返りと学習を深める項目が示されている。</p> <p>○「歴史にチャレンジ」を通じて、学習を深めることができる。(p. 34～35, 58～59 等)</p>	<p>○各編の導入では「地図で見る世界の動き」が見開き2ページで示され、交易や世界の様子などがイラストや写真で示され、興味・関心を高める工夫がなされている。(p. 16～17 等)</p> <p>○仏像や寺社、遺跡、絵画などの文化財が多く掲載され、興味・関心を高めるように工夫されている。(p. 106～109)</p>	<p>○「地域に学ぶ」というコラムの中で「ヨーロッパに知られた石見銀山」が取り上げられている。(p. 121)</p> <p>○「領土の画定と隣接地域」の本文、年表、地図で竹島の島根編入について記述されている。特設ページ「冷戦終結後の近隣諸国との関係」で歴史的経緯と現在の状況について述べられている。(p. 192, 292～293)</p>	<p>○特設ページ「歴史との対話を未来にいかす」では、先人たちの取り組みをふまえて未来に向けた課題解決を旨とし、まとめの項目が設けられ、災害・政治参加・世界平和で公民的分野と関連づけられている。(p. 298～305)</p> <p>○コラムや特設ページでは、災害からの復興や伝統文化の継承、人権問題などの視点で現在とのつながりについて意識されるように工夫されている。</p>	<p>○二次元コードからデジタル資料のあるサイトにアクセスできるようになっている。編ごとに動画やワークシート等を活用することができる。(p. 5 等)</p> <p>○導入の部分で歴史的な見方・考え方をまとめたページが設けられ、時系列・推移・比較・つながりについて詳しく説明されている。(p. 12～13)</p>	<p>○全体的に多くの文化財が用いられ、文化や美術などの資料を比較し、背景を考える等、多面的・多角的に歴史的事象をとらえられるように工夫されている。</p> <p>○学習のまとめや「歴史にチャレンジ」などでは、自分の考えをまとめたり、グループ活動を取り入れたりするなどの学習活動が例示されている。</p>
R	<p>○生徒たちが歴史的分野の学習を進めていく上で、適量な分量の教科書である。文字だけでなく、写真や絵画、イラスト等の図版も大きく、視覚から情報を読み取りやすい。</p> <p>○1時間の学習内容を概ね見開き2ページでまとめている。</p>	<p>○歴史学習の導入として、小学校で学んだ人物を取り上げながら歴史の流れをまとめている。身近な地域の歴史の調べ方やまとめ方等について、大阪を例に示している。(p. 6～18)</p> <p>○「民間でもつくられた憲法草案」等、「歴史ビュー」や「人物クローズアップ」といったコラムを通して、それぞれの時代を理解させることができる。(p. 191 等)</p>	<p>○写真や絵画、イラスト等の図版が大きく、「歴史ズームイン」に紙面を割り、「外国人が見た日本」や「震災の日本史」等を通して、より深く歴史をとらえる工夫がされている。(p. 208 等)</p> <p>○多くの人物が絵画や写真付きで取り上げられている。(p. 174 等)</p>	<p>○「明治初期の外交と国境の画定」や「歴史ズームイン」の中で、竹島の経緯について記述されている。(p. 183, 267)</p> <p>○神代神楽、出雲大社、石見銀山、森鷗外といった、地域ゆかりの文化財や人物が取り上げられている。(p. 207 等)</p>	<p>○各章の最後に、それぞれの時代に活躍した女性たちを取り上げる「なでしこ日本史」を掲載し、女性の視点から歴史をとらえるよう工夫している。(p. 256 等)</p> <p>○「歴史ズームイン」の中で「江戸のエコロジー」がまとめられている。身近な環境に配慮したくらしについての記述を通して、現代社会の課題も意識できる。(p. 133)</p>	<p>○各章の導入で「歴史モノサシ」が示され、学習する時代が意識できるよう工夫されている。(p. 103 等)</p>	<p>○各章の導入にあたって、見開き2ページを使った「鳥の目で見ると」「虫の目で見ると」は、それぞれの時代をイメージできるようなイラストや絵画、写真等が掲載されている。(p. 70～73)</p> <p>○写真や絵画、イラスト等の図版が大きく、生徒たちが歴史的分野の学習を進めていく上で、適量な分量の教科書である。</p>

# 選 定 に 必 要 な 資 料

種目名 : 社会・歴史的分野 No. ( 3 )

記号	選 定 に 必 要 な 資 料 の 観 点						総 括
	1 内容、程度、分量等	2. 教材の選択や構成等	3. 興味・関心への配慮等	4. 教科の特性、地域の実態や課題への適合等	5. 各教科及び実生活との関連についての工夫	6. その他	
S	見本本の送付がありませんでした。						

## 選 定 に 必 要 な 資 料

種目名 : 社会・公民的分野 No. ( 1 )

記号	選定に必要な資料の観点						総括
	1 内容、程度、分量等	2. 教材の選択や構成等	3. 興味・関心への配慮等	4. 教科の特性、地域の実態や課題への適合等	5. 各教科及び実生活との関連についての工夫	6. その他	
A	<p>○AB版になっており、見開きページあたりの図表、写真等の資料が大きく掲載され、複数の資料をもとに社会的事象について考えるための工夫がされている。(p.10~11)</p> <p>○写真や図に説明をつけ、資料の理解をしやすいしたり、本文に関連した短いコラムを多数載せたりして、理解を深めたりする工夫がされている。(p.14~15)</p>	<p>○一単位時間のページには、学習のきっかけや追究の中心資料、学習課題が示され、終了後に内容の確認やまとめができる問いを示すという構成となっている。(p.8~9)</p> <p>○各章の導入とまとめに、テーマに沿って、さまざまな思考ツールの使い方を示し、思考力・判断力・表現力をつける工夫がされている。(p.6~7、32~35、p.208~211)</p>	<p>○各章のはじめに、学習の内容について、生徒が多様な意見を出せるような身近なテーマを取り上げながら、探求課題を確認できるよう工夫されている。(p.6~7)</p> <p>○コラム「もっと公民」では、学習内容を広げたり、異なる視点でとらえたりする内容で、関心を高める工夫がされている。(p.74)</p>	<p>○竹島問題について「不法に占拠され」「日本固有の領土」と本文に記述し、島根県の新聞記事を紹介するとともに、領土問題の経緯や国際司法裁判所への付託等について記述している。(p.184)</p>	<p>○「みんなでチャレンジ」では、身近な課題や現代的な課題を20以上取り上げ、グループで話し合う活動などを行い、学習を深める工夫がされている。(p.111)</p> <p>○終章では、持続可能な社会を築くためのアクションプランをレポートにまとめる学習が設定されている。(p.213~218)</p>	<p>○「ICTを活用した学習」として二次元コード等を利用して、ウェブサイトや動画集や映像資料などを活用できるように工夫がされている。</p> <p>○選挙年齢の引き下げを受け「18歳へのステップ」として、選挙と契約について取り上げている。(p.88、136)</p>	<p>○全体として「持続可能な社会の実現」をテーマに、各章や各時で課題の探究を促す構成になっており、学びを深め、社会への参画意識をもてるようになっている。(巻頭1~2、p.8~9、p.180~181、p.213~218)</p> <p>○個人やグループで行う作業や活動が多くあり、思考力・判断力・表現力をつける工夫がされている。(p.76~77)</p>
G	<p>○AB版になっており、見開きページあたりの図表、写真等の資料が多く掲載され、複数の資料をもとに社会的事象について考えるための工夫がされている。(p.14~15)</p> <p>○用語や本文の記述に側注解説がされたり、その事象の背景や影響などの補足説明がされたりするなど、生徒の理解を促す工夫がなされている。(p.17)</p>	<p>○一単位時間のページには、学習のきっかけや追究の中心資料、学習課題が示され、終了後に内容の確認やまとめができる問いを示すという構成となっている。(p.14~15)</p> <p>○「言葉で伝え合おう」「公民の技」でディベートなどの具体的な手順を明確に示し、思考力・判断力・表現力をつける工夫がされている。(p.68~69、175)</p>	<p>○各章の「学習のはじめに」で学習の見通しや見方・考え方を示すとともに「次章の学習へ」でつながりを意識した記述をすることで、興味・関心を高める工夫がされている。(p.12~13)</p> <p>○「公民の窓」「クリップ」の約50コラムで学習に関連した内容を解説し、興味・関心を広げたり、学習を深めたりする工夫がされている。(p.27)</p>	<p>○竹島問題について「日本固有の領土である」ということが、日本政府の立場「韓国が領有権を主張」「国際司法裁判所での話し合いによる解決を提案」と本文に記述されている。(p.197)</p> <p>○大田市の中村ブレイスの取組が資料として取り上げられ、働くこと関連づけて考えられる内容となっている。(p.189)</p>	<p>○ノートづくりについて取り上げ、人の発言や自分の感想、調べてみたいと思ったことや疑問点を書くなど、自学の視点が示してある。(巻頭4)</p> <p>○終章では、持続可能な未来に向けた『私の提案』を「作成ナビ」に基づいて作成し、発表する学習が設定されている。(p.227~234)</p>	<p>○「学びリンク」として二次元コード等を利用して、ウェブサイトや動画集や映像資料などを活用できるように工夫がされている。</p> <p>○国際社会の中でのさまざまな人権課題について、多面的・多角的に考えられるように取り上げている。(p.46~71)</p>	<p>○全体として「SDGsの17の目標」や「本質的な問い」で貫かれた構成になっており、本文ページや各章末でも関連する主なSDGsの項目が示されている。(I~II、p.89、126)</p> <p>○「読んで深く考えよう」で、現代的な課題について多面的・多角的な視点で思考を深められるようになっている。(p.24~25、186~187)</p>

## 選 定 に 必 要 な 資 料

種目名 : 社会・公民的分野 No. ( 2 )

記号	選定に必要な資料の観点						総括
	1 内容、程度、分量等	2. 教材の選択や構成等	3. 興味・関心への配慮等	4. 教科の特性、地域の実態や課題への適合等	5. 各教科及び実生活との関連についての工夫	6. その他	
J	<p>○AB版になっており、見開きページあたりの図表、写真等の資料が大きく掲載され、複数の資料をもとに社会的事象について考えるための工夫がされている。(p. 3~4)</p> <p>○写真や資料に「資料活用」として、読み取りのポイントや考える視点が示されたものがあり、資料を理解しやすいように工夫されている。(p. 135)</p>	<p>○一単位時間のページには、学習のきっかけや追究の中心資料、学習課題が示され、終了後に内容の確認やまとめができる問いを示すという構成となっている。(p. 8~9)</p> <p>○「技能をみがく」でディベートの進め方や思考ツールを取り上げ、ウェブサイトでも思考ツールの説明動画を活用できるように工夫されている。(p. 102)</p>	<p>○「未来に向けて」「Yes No」「公民プラス」など、多様なコラムで、身近な話題や現代的な課題が学習内容にそってとりあげられている。(p. 6, 44, 47)</p> <p>○各章の導入にイラストを用いて課題を考える活動が設定され、小学校での学習をふりかえり、学習内容の見通しがもてるよう工夫されている。(p. 27~28)</p>	<p>○竹島問題について「日本固有の領土」「韓国が…不法に占拠を続けて」「国際司法裁判所に委ねよう」と提案」と本文に記述されている。(p. 176)</p>	<p>○章末の「章の学習を振り返ろう」は重要語句を確認する基礎的な学習と考えをまとめる発展的な学習、次章につながる課題を考える学習で構成されている。(p. 25~26)</p> <p>○最終章「課題の探求」では、持続可能な社会を実現に向けた行動についてレポートを作成する学習を設定している。(p. 203~210)</p>	<p>○二次元コード等を利用して、ウェブサイトや学習に役立つ映像資料や教科書のイラストなどを活用できるように工夫されている。(p. 13~14, 27~28)</p> <p>○小学校や地理、歴史で学習した内容をページの下部に示されている。(p. 29)</p>	<p>○SDGs 関連項目を各所に記号で示すことで、終章での課題探究的な学習活動を深められるよう工夫されている。(p. 138, 162, 196)</p> <p>○地震や豪雨などの自然災害とその対策という近年の身近な課題から資料をもとに考えられるようになっている。(巻頭1~2、p. 4, 17, 141、巻末2~3)</p>
O	<p>○AB版になっており、見開きページあたりの図表、写真等の資料が多く掲載され、複数の資料をもとに社会的事象について考えるための工夫がされている。(p. 48~49)</p> <p>○本文に関連して学習内容の理解を深めるための補説コラムやアクティビティを豊富に配置している。(p. 57, 103)</p>	<p>○一単位時間のページには、学習のきっかけや追究の中心資料、学習課題が示され、終了後には内容のまとめができるような問いを示すという構成となっている。(p. 8~9)</p> <p>○「シンキングツールマーク」として、さまざまな思考ツールを取り上げており、課題について考える手助けとなるよう工夫されている。(p. 118)</p>	<p>○「公民+α」「明日に向かって」では、身近な話題や現代的な課題を学習内容にそってとりあげられている。(p. 11, 96)</p> <p>○各編の導入にイラストを用いて課題を考える活動が設定され、学習内容の見通しや関心・意欲がもて、見方や考え方がわかりやすいよう工夫されている。(p. 6~7)</p>	<p>○竹島問題について「日本固有の領土」「韓国が…(略)…不法に占拠」「日本政府は国際司法裁判所で解決することを提案」と本文に記述され、続く補説コラムでは竹島問題の経緯や平和的解決について記述するとともに、島根県の竹島資料室の写真を掲載している。(p. 182~184)</p>	<p>○学習課題に対する「見方・考え方」や学習課題を深める問い、地理や歴史の学習とのつながりなどが示され、予習や復習に活用できるよう工夫がされている。(p. 18~19)</p> <p>○最終章では、持続可能な社会を実現するための政策を考え、レポートを作成し、発表する学習を設定している。(p. 212~220)</p>	<p>○二次元コード等を利用して、ウェブサイトや学習に役立つリンクや映像資料、ワークシートなどを活用できるように工夫されている。(p. 17, 26~27)</p> <p>○国際社会や情報社会の中での多様な人権課題を多面的・多角的に考えられるよう取り上げている。(p. 46~67)</p>	<p>○巻頭見開きで SDGs を取り上げ、終章の課題で「持続可能な社会」について公民的分野全体をとおして考える動機づけになっている。(巻頭1~2)</p> <p>○学習課題に対して「対立と合意」「効率と公正」など学習した見方・考え方を示すことで、思考・判断・表現の力がつけられるようになっている。(p. 90, 112)</p>

# 選 定 に 必 要 な 資 料

種目名 : 社会・公民的分野 No. ( 3 )

記号	選定に必要な資料の観点						総括
	1 内容、程度、分量等	2. 教材の選択や構成等	3. 興味・関心への配慮等	4. 教科の特性、地域の実態や課題への適合等	5. 各教科及び実生活との関連についての工夫	6. その他	
Q	<p>○AB版になっており、見開きページあたりの図表、写真等の資料は精選され、社会的事象を整理してとらえられるように配慮されている。(p.2~3)</p> <p>○難しい用語や文章には、そのページに側注がつけられ、詳細な記述により解説されている。(p.135)</p>	<p>○一単位時間のページには、学習のきっかけや追究の中心資料、学習課題が示され、終了後には「ここがポイント」として内容のまとめが示された構成となっている。(p.2, 3)</p> <p>○本文中で歴史的分野などでの既習内容を公民的分野と結びつけながら学習する工夫がされている。(p.44)</p>	<p>○「もっと知りたい」や「ミニ知識」で学習に関連した内容を、資料とともに解説することで興味・関心を高める工夫がされている。(p.13, 14~15)</p> <p>○学習を深めるために、内容に関連した歴史上の人物や著名人が写真や説明で取り上げられている。(p.72)</p>	<p>○竹島問題について「わが国固有の領土」「韓国が不法に…(略)…占拠」「外交交渉や国際司法裁判所での平和的解決に努め」と本文に記述されるとともに、コラムで竹島問題の経緯などを詳細に説明している。(p.167, 170~171)</p>	<p>○章末の「学習のまとめと発展」で重要語句を確認する基礎的な学習や、字数制限を設けて課題を選んでまとめる発展的な学習ができるようになっている。(巻頭9, p.22)</p> <p>○終章でレポートや卒業論文、ディベートについて記載がある。ディベートについては、肯定側、否定側の具体例を示し、取り組みやすく工夫されている。(p.214~223)</p>	<p>○「アクティブに深めよう」で新聞の社説を読み比べたり、課題について班で話し合いながらまとめたりする活動ができるように工夫されている。(p.94~95, 162~163)</p>	<p>○「アクティブに深めよう」で多面的な見方・考え方、情報の読み取りや話し合いの技能を身につけられるようになってきている。(p.8~9, 40~41)</p> <p>○第5章から終章で、これまでの学習と関連づけて、SDGsを取り上げ「持続可能な社会」について考えるようになっている。(p.201, 213)</p>
R	<p>○AB版になっており、見開きページあたりの図表、写真等の資料は精選され、難しい用語や資料に対しては詳しい説明がなされるなど、広く知識を身に付けられるように工夫されている。(p.98~99)</p> <p>○学習内容に関連した条文や法令、条約、または側注解説を載せ、生徒の理解を促している。(p.54~55)</p>	<p>○一単位時間のページには、学習のきっかけや追究の中心資料、学習課題が示され、終了後には内容のまとめができるような学習活動を設ける構成となっている。(p.10~11)</p> <p>○毎時間の学習のまとめでは、学習内容の確認を行って知識の定着を図ったり、因果関係を説明したりする活動ができるよう工夫されている。(p.55)</p>	<p>○巻頭の「なぜ公民を学ぶか」では、地理や歴史と関連づけながら、公民的分野と自分との関りを示している。(巻頭3, p.1)</p> <p>○各章のはじめを「憲法の入り口」「政治の入り口」などとし、身近な問題を取り上げることで、興味・関心を高め、考えたり、話し合ったりする活動が設定されている。(p.36~37)</p>	<p>○竹島問題について「日本固有の領土」「韓国が領有を主張し、不法占拠」「日本は平和的な手段による解決に向けて努力」と本文に記述されるとともに、地図の解説や特設ページで歴史的経緯や国際司法裁判所への付託などを説明している。(p.186~187, 189)</p>	<p>○「やってみよう」では、これまでの学習に関連して、個人や班で考えて判断したり、説明したりする活動が設定されている。(p.102~103)</p> <p>○「社会科のまとめ」では、「よりよい社会をめざして」をテーマに持続可能な社会を築いていくという観点で、レポートを作成する学習を設定している。(p.203~209)</p>	<p>○二次元コード等を利用して、ウェブサイトや学習に役立つリンクや映像資料、ワークシートなどを活用できるように工夫されている。(p.17, 26~27)</p> <p>○Society 5.0を取り上げている。(p.199)</p>	<p>○巻頭や各章でSDGsに関わる内容を取りあげ、「持続可能な社会」についてのレポートまで関連づけている。(巻頭1~2, p.165, 170~171)</p> <p>○「学習を深めよう」の小コラムで現代的課題を取り上げるとともに、各章1つ程度は見開きで調べたり、話し合ったりする活動例を示し、学習を深めるようにしている。(p.14~15, 140~141)</p>

# 選 定 に 必 要 な 資 料

種目名 : 社会・地図 No. ( 1 )

記号	選定に必要な資料の観点						総括
	1 内容、程度、分量等	2. 教材の選択や構成等	3. 興味・関心への配慮等	4. 教科の特性、地域の実態や課題への適合等	5. 各教科及び実生活との関連についての工夫	6. その他	
A	<p>○AB 判の 192 ページで全体的に落ち着いた色合いでまとめ、UD フォントを使用し、主題図にはシンプルなフラットデザインを採用している。</p> <p>○現代社会の諸課題を「環境・エネルギー」「人権・平和」「防災・安全」「伝統・文化」「情報・技術」の5つに整理し、教科書と連携して活用できるような構成になっている。</p>	<p>○地球儀を3分割した地図図を採用し、地球儀のようにとらえることができるように工夫している。(p. 29、61、67)</p> <p>○一般地図の後に地域の特徴を追究するためのテーマ資料があり、歴史や公民でも活用できる資料が掲載されている。(p. 95、96)</p>	<p>○テーマ資料では、地域ごとに、複数の分布図やグラフの他に豊富な写真掲載し、関心が高められるよう工夫されている。(p. 36～40)</p> <p>○オリンピック・パラリンピック関連資料を掲載し、学習の動機付けとして活用できるようにされている。(p. 22、131、132)</p>	<p>○中国地方では、竹島の拡大図が掲載され、日本周辺地図では、写真とともに領土問題に関する記述がある。(p. 97、190)</p> <p>○多面的にとらえることができるように「ジャンプ」マークによって、1つの資料を他のページの資料と関連付けられるように工夫されている。(p. 6、9、15 など)</p>	<p>○自然災害の現状や傾向がわかる資料を多数掲載し、防災・減災への意識を高められるように工夫されている。(p. 151、152)</p> <p>○巻頭8ページにわたって持続的な開発目標(SDGs)を特集し、現代的な諸課題への理解を深められるよう複数の資料が示されている。(p. 7～14)</p>	<p>○資料さくいんを設け、分類ごとに資料を探せるように検索性を高めている。(p. 186)</p> <p>○D マークの示す箇所では、巻頭の二次元コードからインターネットに接続すると関連情報を閲覧できる。(p. 34)</p>	<p>○教科書との連携を重視し、3分野すべてに関連する資料が掲載され、課題の発見や追究に活用しやすいように工夫されている。(p. 9～14、39、40)</p> <p>○現代社会の課題であるSDGsを大きく取り上げ、その課題を追究する上で必要な知識や技能の習得ができるよう工夫されている。(p. 7～14)</p>
J	<p>○A 版 188 ページで大きな紙面から情報が読み取りやすく、全体的に濃淡のはっきりとした色彩を採用している。UD フォントを使用し、文字に他の要素が重ならないように工夫している。</p> <p>○日本の各地方全てに、「自然環境」「人口」「産業」「交通」の4つの中核となる事象の資料図を設定しており、比較を通して地域の特色がわかる構成になっている。</p>	<p>○各地域の同一ページの資料図は同縮尺で示され、比較したり、関連付けながら考察したりできるように工夫されている。(p. 27、28)</p> <p>○各地域の地図の後に「防災」「環境」「日本との結びつき」などを課題追究できる資料が掲載されている。(p. 28、88)</p>	<p>○立体的でイラストを配した鳥瞰図により、地域的な特色や人々の生活をとらえやすいように工夫されている。(p. 25、26)</p> <p>○タイトルの横に二次元コードがあり、学習内容にかかわる動画を含む多くの資料が閲覧できるので家庭学習でも利用でき、主体的に学習しやすい。</p>	<p>○竹島の拡大図や航空写真が掲載され、領土問題についての記述がある。また、地図が大きく、位置や距離がつかみやすいよう工夫されている。(p. 30、80、89)</p> <p>○「地図活用」が多数掲載されており、地図の読み取りが身に付くだけでなく、社会的な見方ができるよう工夫されている。(p. 8、14、18 など)</p>	<p>○「環境マーク」、「防災マーク」がついた資料図が多数掲載され、環境への配慮や防災意識が高まるよう工夫されている。(p. 28、35、88、96)</p> <p>○世界の全ての地域の資料に「日本との結びつき」を取り上げ、各地域と日本との関係について追究しやすく工夫されている。(p. 44、54)</p>	<p>○軽い用紙を採用し、大型になっても地図が軽くなっている。</p> <p>○二次元コードが38箇所設置され、豊富なデジタルコンテンツを利用することができる。(p. 6、19)</p>	<p>○「地図活用」や「学習課題」コーナーを設けたり、二次元コードによる豊富な資料を閲覧できたりすることで、授業でも家庭学習でも主体的に地図帳を活用できるよう工夫されている。(p. 22、151)</p> <p>○地図ページは表示が大きく、標高の高低差の配色が鮮やかで、違いが分かりやすいよう工夫されている。(p. 109、110)</p>

# 選 定 に 必 要 な 資 料

種目名 : 数学 No. ( 1 )

記号	選定に必要な資料の観点					総括	
	1. 内容、程度、分量等	2. 教材の選択や構成等	3. 興味・関心への配慮等	4. 教科の特性、地域の実態や課題への適合等	5. 各教科及び実生活との関連についての工夫		6. その他
A	<p>○1年は、0章があり、算数で学習した内容を取り上げて、数学での学習の進め方、ノート作り方を示し、中学校の学習がスムーズに進められるよう配慮されている。(1年 p. 9~16)</p> <p>○活動の時間を確保するため、やや複雑な計算や発展性の少ない内容を精選し、25時間の予備時間を確保している。</p>	<p>○3年では、日常生活や社会の事象に関わる問題発見・解決を一層重視しており、「必要なコードの長さは?(p. 193)」や「どのように拡大されているかな?(p. 128)」など、日常生活の事象を数理的に考えていく教材が設定されている。</p> <p>○「平行と合同」の導入では、多角形の角の和の説明から学習を始めており、あることがらをもとに新しい性質を導くという筋道を立てて説明することに意識を向けさせる工夫がされている。(2年 p. 98~100)</p>	<p>○「学びを広げよう」では、数学と実社会や職業とのつながりを伝え、「(知ろう)」、実際に体験すること(「やってみよう」)で数学の有用性を実感できるよう工夫されている。(3年 p. 122~123)</p> <p>○章の扉には、身近な場面がイラストで提示され、問を投げかける吹き出しや章のめあても示されており、生徒の興味・関心を高め、主体的な学びになるよう工夫されている。(3年 p. 127)</p>	<p>○「活用の問題」では、身につけた知識・技能を活用して問題を解決する過程で、自ら考え表現する力を高める「記述式の問題」を用意されており、変わりゆく大学入試やその先の社会で求められる学力に対応するための工夫がされている。(3年 p. 40 など)</p> <p>○章に入る前に「大切にしたい数学の学び方」で、「深い学び」のページの学び方を具体的に示している。(全学年 p. 6、7)</p>	<p>○「防災・安全」「環境」「多様性の尊重」「伝統文化の尊重」に関わる題材などに「他教科関連マーク」をつけ、教科横断的に取り組む際の参考となるよう工夫されている。(3年 p. 115)</p> <p>○「学びを広げよう」では、数学を社会で活用している人をインタビュー形式で紹介し、それにかかわる課題を載せている。(1年 p. 182、183)</p>	<p>○「大切にしたい数学の学び方」では、問題解決の進め方とともに、発表のしかたや聞き方、振り返りや深める視点などが分かるようになっていく。</p> <p>(全学年 p1、p6、7)</p> <p>○色数を減らし、無駄な情報やデザインを排したシンプルデザインになっており、生徒が集中して学びやすいよう工夫されている。</p>	<p>○主体的・対話的で深い学びとなるよう工夫がされている。例えば、知識技能を活用する場面で問題発見・解決の過程を意図した活動を紙面化した「深い学びのページ」をほぼすべての章に設け、「思考力・判断力・表現力」の育成を図っている。(1年 p. 145、146 など)</p> <p>○章末の活用の問題は、写真を取り入れて提示し、日常生活との関連を意識しやすいよう工夫されている。(3年 p. 208)</p>
B	<p>○教科書の大部分において、見開き2ページが「考えよう」→「タイトル」→「めあて」→「活動」→「問(または「例題」など)」と、1時間の授業で扱える内容となっており、生徒が見通しをもって活動しやすくなるよう工夫されている。(2年 p. 68 など)</p> <p>○章や節の基本を再確認するページ(「たしかめよう」)や、章の発展的な学習にチャレンジするページ(「力をのばそう」)を設けている。</p>	<p>○1年1章を「数の世界のひろがり」と設定し、「視素数や素因数分解について学んだあと、「正の数・負の数」の学習へつながるよう内容配列が工夫されている。</p> <p>○2年連立方程式では、加減法と代入法のどちらの考え方からでも学習できる構成になっている(2年 p. 45)</p>	<p>○「学びにプラス」では、「生活に活かそう」、「視点を増やそう」、「工夫しよう」、「検証しよう」などの活動を提示し、学習を振り返ったり、ひろげたり、活用したりする問題を設け、自主的・自立的に問題に取り組む能力を養うよう工夫されている。(1年 p. 157)</p> <p>○中学校の学習内容と関連させて高校で学ぶ数学を紹介し、興味・関心を高めるとともに、中高の接続をスムーズに行うよう工夫されている。(3年 p. 276、277)</p>	<p>○すべての章に「利用の節(項)」が設けられており、学習内容の有用性を実感し、幅広い知識と教養の習得及び定着を図るよう工夫されている。</p> <p>○章の導入となる活動を設定し、活動を通して見出した問題が次ページ以降の学習につながるなど、数学的活動を通して、思考力・判断力・表現力を育てていくよう工夫されている。(3年 p. 78、79)</p>	<p>○「社会にリンク」では、仕事の中で数学を役立てている人のインタビューを載せている(2年 p. 97 など)</p> <p>○「MATHFUL」は、数学が実生活に活かされていることや、楽しく豊かな数学の世界を知ることができる読み物となっている。(3年 p. 244)</p>	<p>○「活用・探求」では、学習したことをさらに活用して探求する問題を設けている。(3年 p. 42)</p> <p>○特別支援教育の専門家の監修のもと、重要な部分を強調するなどレイアウトを工夫したり、ユニバーサルデザインフォントを使用したりして、読みやすさに配慮するなどしている。</p>	<p>○問題発見から解決までの学習の進め方が示されており、その流れで学習を進める課題が各学年の利用の節にあり、主体的・対話的で深い学びになるよう工夫されている。(1年 p. 7~9、231、232)</p> <p>○章の扉にある課題は、実生活に即した問題を取り上げており、数学と実生活との関連を意識できるよう工夫されている。(1年 p. 124、125)</p>

# 選 定 に 必 要 な 資 料

種目名 : 数学 No. ( 2 )

記号	選定に必要な資料の観点						総括
	1 内容、程度、分量等	2. 教材の選択や構成等	3. 興味・関心への配慮等	4. 教科の特性、地域の実態や課題への適合等	5. 各教科及び実生活との関連についての工夫	6. その他	
E	<p>○「QUESRION」では、問題の他に男女のイラストに吹き出しがついており、既習事項を確認したり、深めたりするようなセリフが書かれている。(1年 p. 45)</p> <p>○章末の確認問題を基本、応用、活用と分けたり、巻末に復習問題や総合問題を取り上げたりすることで、個に応じて学習できるよう工夫されている。(3年 p. 39~41、268~283)</p>	<p>○「平面図形」では、「いろいろな角度の作図」として、90°の作図を考へ、その後、角度に注目して基本の作図を学習するように構成されている。(1年 p. 168~176)</p> <p>○基本の作図を学習した後、「平行線と面積」を扱っている。(1年 p. 177、178)</p>	<p>○章末のページには「役立つ数学」の項目があり、その章で学習した内容が社会において活かされている場面を紹介し、興味・関心を高めるよう工夫されている。(3年 p. 42 など)</p> <p>○立体の投影図、多角形の外角の和、三平方の定理の証明ではページ右上に関連する図を載せ、興味・関心を高めるよう工夫されている。(1年 p. 199~219)</p>	<p>○章の学習後「できるようになったこと」を具体的にチェックする欄や「さらに学んでみたいこと」を書く欄が設けられており、学びを振り返ることができるよう工夫されている。(1年 p. 163)</p> <p>○「Tea Break」では、発展的な項目もあり、その章で学習した内容を活用して深めるとともに、高校の学習との接続を意識した内容になっている。(2年 p. 54、55)</p>	<p>○「比例と反比例」では、視力検査に用いられるランドルト環を教材として取り上げており、数学と実生活との関連が実感できる。(1年 p. 156、157)</p> <p>○全学年の最初に「数学の力」というページを設け、数学を活用して社会で活躍している人のインタビュー記事を取扱っている。</p>	<p>○色覚のちがいによって学習に支障が出ることがないようにカラーユニバーサルデザインをふまえた色遣いを工夫している。フォントもユニバーサルデザインフォントにしている。</p> <p>○全学年の巻末には、プログラミングを体験できる学習内容が載せられている。</p>	<p>○章の導入では、日常生活でみられる問題を扱い、問題発見・解決の過程を重視した数学的活動を設定することで、主体的・対話的で深い学びとなるよう工夫されている。(2年 p. 45、46)</p> <p>○学習がスムーズに進められるように、関連する既習事項を「ふりかえり」として取り上げている。(2年 p. 65)</p>
G	<p>○解答を2種類の方法で示したり、丁寧な説明がしてあったりして、自ら学習に取り組むことができるように配慮されている。(1年 p. 43)</p> <p>○「例」「たしかめ」「問」のようにスモールステップで学習できるよう配慮されている。</p>	<p>○各章の冒頭に「学習をする前に」が設けられ、既習事項の確認とこれからの学習への準備が図られるよう配慮されている。(1年 p. 12)</p> <p>○各章の終わりに、学習のまとめのページがあり、既習事項の要点が簡潔にまとめられている。(1年 p. 63)</p>	<p>○各章の冒頭に実生活の中で活用されている例が紹介されており、興・味関心を高められるよう工夫されている。(2年 p. 43)</p> <p>○各章の導入「レットトライ」では、学校生活での出来事など身近な場面設定がされており、生徒が興味・関心を高められるよう工夫されている。(1年 p. 14)</p>	<p>○巻頭の「数学的な考え方のまとめ」では、考え方の視点が紹介されており、各自が多様な見方で考えられるよう工夫されている。(1年 p. 11)</p> <p>○「工夫してノートを書こう」というコーナーを設け、ノートの取り方について助言することでまとめる力や表現力を育成するよう配慮されている。(1年 p. 66、67 2年 p. 40、41 3年 p. 44、45)</p>	<p>○数学の広場では、実生活の中にある数学について話題を提供し、日常との関連性が意識できるよう工夫されている。(2年 p. 84)</p> <p>○数学の広場では都市模型製作者を紹介し、学んだことが仕事に活かされていることや数学を学ぶ意味について紹介している。(3年 p. 258、259)</p>	<p>○活用問題を見開き2ページで掲載し、問題解決のプロセスを側注に設けて主体的な学びになるよう配慮されている。(2年 p. 118、119)</p> <p>○全学年巻末にグラフが添付されており、取り外して使うことができるようになっている。</p>	<p>○ページの右側に脚注をつけ、数学的な考え方や問題解決のプロセスを明示し、主体的な学びになるよう配慮されている。(2年 p. 118、119)</p> <p>○解答を2種類の方法で示したり、丁寧な説明がしてあったりして、自ら学習に取り組むことができるように配慮されている。(1年 p. 43)</p>

# 選 定 に 必 要 な 資 料

種目名 : 数学 No. ( 3 )

記号	選定に必要な資料の観点						総括
	1 内容、程度、分量等	2. 教材の選択や構成等	3. 興味・関心への配慮等	4. 教科の特性、地域の実態や課題への適合等	5. 各教科及び実生活との関連についての工夫	6. その他	
L	<p>○章末問題「学びをたしかめよう」では、問題にチェック欄を設け、基礎・基本の定着が図られるよう配慮している。(2年 p. 30, 31)</p> <p>○「例題」では考え方を示し、解答の背景に罫線をつけるなど、ノート作りを手助けする工夫がなされている。(3年 p. 26)</p>	<p>○2年「箱ひげ図とデータの活用」の「数学ライブラリー」では、箱ひげ図を縦向きで提示し、ヒストグラムと比較して違いが分かりやすくなるよう配慮している。(2年 p. 178)</p> <p>○各章冒頭の導入では、見開き2ページを使って、問題提示をし、話し合い活動しながら学習が進められるよう工夫されている。(2年 p. 94, 95)</p>	<p>○巻末の「学びをいかそう」では、操作活動を通して、興味・関心をもって学習できる内容を取り上げている。(3年 p. 33, 34)</p> <p>○日常生活での出来事など、身近な場面設定がされており、興味・関心をもって取り組める題材を取り上げている。(3年 p. 153)</p>	<p>○問題の後に？マークを設け、自分から新たな疑問を見だし、課題解決しようとする力を生み出すことができるよう工夫されている。(1年 p. 103)</p> <p>○数学的な見方・考え方を活用して課題解決が図られるよう、学習活動の流れをステップ1. 2. 3で表し、取り組みやすいよう配慮している。(1年 p. 50, 51)</p>	<p>○巻末の「学びをいかそう」では、身の回りで役立てたり、学んだ事から深めたりする題材を扱い、個に応じた見方・考え方を養うことができるよう工夫している。</p> <p>○巻末の「学びをいかそう」の「社会科見学」では、学んだことが社会でどのような役立てられているか紹介している。(1年 p. 59, 60)</p>	<p>○QRコードを使って個人学習や、家庭学習ができるよう、解答だけでなく、ヒントや途中式が示してある。(1年 p. 55)</p> <p>○本書の表表紙が「みんなで学ぼう編」、裏表紙が「自分から学ぼう編」に分けられ、目的によって本書を使い分けやすいよう工夫している。</p>	<p>○本書を「みんなで学ぼう」「自分から学ぼう」の2編に分類し、基礎・基本の定着と学びをいかす学習の充実が図られるよう工夫している。</p> <p>○各章の導入では、話し合い活動を設けて思考力・表現力を高めるための協同的な学びになるよう配慮されている。(2年 p. 94, 95)</p>
N	<p>○学習の目標を明示し、見通しをもって学習活動が進められるよう配慮されている。(1年 p. 19)</p> <p>○キャラクターの会話を通して疑問や気付きに沿いながら進められるよう配慮されている。(1年 p. 21)</p>	<p>○各章の冒頭に、「学習の前に」が設けられ、既習事項の確認と、これからの学習への準備が図られるよう配慮されている。(1年 p. 186)</p> <p>○大事な事柄にアンダーラインを色分けして分かりやすく示すなど、理解を促すよう工夫している。(1年 p. 26, 27)</p>	<p>○キャラクターが「0&gt;-3&lt;+1 はなぜだめか?」「途中から乗法になっているのはどうして?」など、生徒が抱く素朴な疑問を取り上げ、考えを促すような工夫がされている。(1年 p. 23, 83)</p> <p>○先生、生徒のキャラクターが学習の進め方を導き、学習に取り組みやすくなるように配慮されている。(2年 p. 64)</p>	<p>○別冊「探求ノート」では、教科書の内容を深めるための題材が取り上げられ、数学的な見方・考え方を養う工夫がされている。</p> <p>○章の途中に「説明しよう」「考えよう」を設け、思考力・表現力が高められるよう配慮されている。(2年 p. 18, 37)</p>	<p>○巻末「数学旅行」では、身の回りにある数学を取り上げ、個人の興味・関心に応じて数学の楽しさを感じられるよう工夫している。(2年 p. 199)</p> <p>○巻末に「考えよう」「調べよう」を設け、学びが社会の中にある数学につながっていることが意識できるよう工夫している。(3年 p. 215)</p>	<p>○「空間図形」の章の表紙に、仁摩サンドミュージアム、「一次関数」では山陰本線の写真が掲載されている。(1年 p. 187, 2年 p. 101)</p> <p>○巻末には領域ごとに内容のまとめが掲載されており、学びの連続性を確認することができるようになっている。(1年 p. 184~291)</p>	<p>○別冊を使って本冊の発展的な学びを探求しながらすすめていくような工夫がされている。</p> <p>○先生、生徒のキャラクターが学習の道筋を示したり、ポイントを押さえたりすることで、学習に取り組みやすくなるよう配慮している。(2年 p. 64)</p>

## 選 定 に 必 要 な 資 料

種目名 : 数学 No. ( 4 )

記号	選定に必要な資料の観点						総括
	1. 内容、程度、分量等	2. 教材の選択や構成等	3. 興味・関心への配慮等	4. 教科の特性、地域の実態や課題への適合等	5. 各教科及び実生活との関連についての工夫	6. その他	
○	<p>○各節の冒頭では「めあて」が明示されており、見通しをもって学習が進められるよう配慮されている。(1年 p. 16)</p> <p>○「例」と「問」が同程度の難易度になっており、基礎的・基本的な内容の定着が図られるよう配慮されている。(1年 p. 26)</p>	<p>○「問」の次に発展問題に取り組めるよう、「チャレンジ」や「次の課題」を設け、自ら学習を進めることができるよう工夫されている。(2年 p. 49)</p> <p>○各章の冒頭に「次の章を学ぶ前に」が設けられ、既習事項の確認とこれからの学習への準備が図られるよう配慮されている。(1年 p. 13)</p>	<p>○各章の導入では、見開き2ページを使って課題が提示され、その課題をもとに学習が展開されるよう工夫されている。(1年 p. 14、15)</p> <p>○「数学のたんけん」では、高校数学や歴史など様々な視点で数学を紹介しており、生徒の興味・関心を喚起するよう内容になっている。(3年 p. 120、134)</p>	<p>○「学び合おう」では見開き2ページを使って、活動の手順が明記され、思考力・表現力を高める活動を取り入れている。(3年 p. 34、35)</p> <p>○全学年巻末には「対話シート」が設けてあり、数学的活動の充実を促されるよう工夫されている。</p>	<p>○巻末「マイトライ」では、東京オリンピック・パラリンピックのエンブレムを取り上げ、数学がデザインに活かされていることを紹介している。(3年 p. 214)</p> <p>○「身近なことがら」の部分の背景に色をつけるなど、実生活とかかわりのある問題が視覚的に分かるよう工夫されている。(3年 p. 153)</p>	<p>○表紙裏の見開き2ページには、数学の美しさが感じ取られる写真を大きく掲載している。</p> <p>○「空間図形」では仁摩サンドミュージアムの写真が掲載されている。(1年 p. 198)</p>	<p>○中学生のキャラクターが数学用語を使って表現する場面を示すことで、言語活動充実のための学習につなげられるよう工夫されている。(3年 p. 34、35)</p> <p>○各節の冒頭では「めあて」が明示されており、見通しをもって学習が進められるよう配慮されている。(1年 p. 16)</p>

# 選 定 に 必 要 な 資 料

種目名 : 理科 No. ( 1 )

記号	選定に必要な資料の観点						総括
	1. 内容、程度、分量等	2. 教材の選択や構成等	3. 興味・関心への配慮等	4. 教科の特性、地域の実態や課題への適合等	5. 各教科及び実生活との関連についての工夫	6. その他	
A	<p>○各学年ゆとりをもって学習が進められるように総授業時数の90%程度で指導できるよう計画されている。</p> <p>○発展的な内容については、必修の内容や高等学校との関連を図り、過度な負担にならないように配慮されている。</p> <p>○つまずきやすい内容に例題、練習、確認を設定し、さらにデジタルコンテンツの動画などを利用して学力の向上を目指す工夫がされている。(2年 p. 192、193)</p>	<p>○各節ごとに、ページ下に学習の流れと現在の学習箇所が記載されており、生徒が見通しを持って学習を進められるように配慮されている。(3年 p. 48, 49)</p> <p>○章の始めと終わりに「before &amp; after」が示されており、目的意識をもって学習に取り組み、学習したことの振り返りができるように構成されている。(2年 p. 91、108)</p>	<p>○表紙や章の扉絵に自然や科学のダイナミックな画像を用い、探求の始まりを期待させるような一言が添えてある。</p> <p>○各節の初めに「レッズスタート」を設け、課題発見を促すように工夫されている。(2年 p. 190)</p> <p>○コラム「つながる科学」で題材ごとに理科を身近に感じられる内容を全学年で130テーマ用意している。(3年 p. 33、157)</p> <p>○各単元末に「科学の本だな」で3冊ずつ関連書籍を紹介している。(1年 p. 141、193)</p>	<p>○課題提示に合わせ、イラストによる対話例の一部を示すことで、生徒の対話を促すようにしている。(1年 p. 86、157)</p> <p>○SDGsの実現に向けた取り組みを紹介し、30年後の社会について討議を行う実習を設定している。(3年 p. 310、311)</p> <p>○「活用」では、学んだことを生かして、自分の考えを文章で表現する活動が多く取り入れられており、思考力・判断力・表現力を高めることができるよう配慮されている。(2年 p. 271)</p>	<p>○小学校や前学年での既習事項を「これまで学んだこと」とし、上級学年、高校での学習を「発展」として紹介することで、縦のつながりを意識しやすいよう工夫されている。(3年 p. 30、55)</p> <p>○他教科の学習内容との関連を示し、より深い理解につながる工夫がされている。(1年 p. 222)</p> <p>○単元末コラム「世界につながる科学」で様々な職業やその職業で働く人を学習内容と関連づけて紹介している。(1年 p. 186、187)</p>	<p>○巻末資料に各学年の学習内容と科学史の関連が一覧で示されている。(1年 p. 257、2年 p. 307、3年 p. 322、323)</p> <p>○Dマークコンテンツでは粒子の動きやグラフなどを動画でシミュレーションできる。(2年 p. 136、192)</p> <p>○全学年巻末に学習に関わるペーパークラフトがついており、生徒自ら組み立て、活用することで地学に必要な空間認識能力の育成に役立つよう工夫されている。</p>	<p>○豊富なイラストを参考にした言語活動を通して、思考力・表現力の育成に配慮されている。</p> <p>○小中高の縦のつながりや他教科の横のつながりを意識しやすいよう工夫されている。</p> <p>○標準的な観察・実験の内容が取り上げられ、分量も適切である。</p> <p>○薬品や電気を扱う実験には「注意」を示し、安全への配慮がされている。</p> <p>○UDフォント、カラーUDを用い読み取りやすい紙面としてある。</p>
B	<p>○学習内容を深める資料や生活と関連した資料など、多様なものを豊富に配置し、理解や習熟の程度に応じて取り組めるようになっている。(1年 p. 160、161)</p> <p>○「基本操作」では、図・写真等で分かりやすくしてあり、器具によっては動画コンテンツも用意してある。(2年 p. 163)</p> <p>○総授業時数の95%程度で指導できるよう分量になっている。</p>	<p>○各学年の目次に、「継続観察(観測)」の項目を設け、年間を通じた観察(観測)が行えるようになっている。(各学年 p. 3)</p> <p>○観察・実験では、タイトルや目的に加えて着目点を示され、見通しをもって取り組むことができる。また、手順の中にコツが示され、観察・実験の成功率を高めるよう工夫されている。(1年 p. 83、180)</p> <p>○本文は見開きの中央に、関連資料は周囲に配置されている。(1年 p. 174、175)</p>	<p>○各単元始めの2ページに、「学習したこと」「学習すること」で繋がりを分かりやすくまとめている。(3年 p. 226、227)</p> <p>○各単元末に「探究活動」のページがあり、学習したこと活用して課題を解決していける題材が紹介されている。(2年 p. 222、223)</p> <p>○「発展」では、学習内容とつながりのある発展的な内容を掲載し、生徒の知的好奇心や探究心に応じて学びを深められるようになっている。(2年 p. 18、129)</p>	<p>○キャラクターの会話場面を掲載し、対話的な学びを促す工夫がされている。(3年 p. 255)</p> <p>○ESDを通じたSDGs達成のために、各学年に環境や国際理解などの様々な資料が用意され、SDGsについて知り、主体的に行動できるようになっている。(2年 p. 287、3年 p. 324~327)</p> <p>○単元末には、まとめ・単元末問題に加え、読解力問題が用意され、自学自習ができるようになっている。(2年 p. 228)</p>	<p>○「Professional」では、キャリア教育の視点で理科に関係した職業を紹介している。(1年 p. 63、171)</p> <p>○「科学のあしあと」では科学者の業績などが紹介されている。(2年 p. 27)</p> <p>○「くらしの中の理科」では、学習内容が日常生活や社会で活用されている話題を紹介している。(2年 p. 41、182)</p> <p>○「つながる」、「つながる×Science Press」では他教科や他の単元の学習との関連が分かるようにしてある。(2年 p. 182、229)</p>	<p>○「ジオパークを見学してみよう!」の中で山陰海岸が紹介されており、世界に誇ることができる自然が地域に存在していることを確認できる。(1年 p. 280)</p> <p>○AR技術を用いた専用アプリで教科書紙面上のマーカーを読み取るとwebページのコンテンツを表示できる。(1年 p. 79、94)</p>	<p>○豊富な写真やイラストなどの資料により、興味をもって理科の探究学習を進めることができるよう配慮されている。</p> <p>○学習前後のつながりや日常生活とのつながりを意識して学習できるよう工夫してある。</p> <p>○学習内容、実験・観察の分量は適切である。</p> <p>○「注意」や「コツ」が示され、実験が安全かつ正確に行えるよう配慮されている。</p> <p>○UDフォント、カラーUDが用いられている。</p>

## 選 定 に 必 要 な 資 料

種目名 : 理科 No. ( 2 )

記号	選定に必要な資料の観点						総括
	1. 内容、程度、分量等	2. 教材の選択や構成等	3. 興味・関心への配慮等	4. 教科の特性、地域の実態や課題への適合等	5. 各教科及び実生活との関連についての工夫	6. その他	
E	<p>○必要なことを端的に学習できるよう分量が絞っており、探求や定着に時間をかけられるような構成が特徴。</p> <p>○総授業時数の 60～70%程度で指導出来るような分量になっている。</p> <p>○考察の例が充実しているため、分析・解釈をするポイントが分かり、考察を書けるよう工夫がされている。(2年 p. 52)</p>	<p>○各学年巻頭の9～15ページ分で「理科のトリセツ」として学習の意味・方法についてまとめている。</p> <p>○本文はページの左上寄せになるようレイアウトされ、右側や下半分には写真・図などの様々な資料が大きく掲載されている。(3年 p. 99)</p> <p>○全ての実験・観察で、探求の過程を意識しやすいよう、課題(1ページ)、方法(見開き2ページ)、結果(1ページ)で分けてある。(2年 p. 61～64)</p>	<p>○各学年の巻頭折込の「ミッションX」では、学習内容と職業の関連を紹介し、科学を学ぶ意義や有用性を実感できるように工夫されている。(2年 p. ⑥-1)</p> <p>○「気付き→課題設定→仮説→計画」が1ページでまとめてあり、思考の流れが分かりやすい。(1年 p. 109)</p> <p>○学習内容に沿って、多くの写真や図の資料が用意され、学習意欲を高める工夫がされている。(1年 p. 144、145)</p>	<p>○実験の課題設定・ふりかえりの場面では、生徒が会話をしながら考えを広げていく様子が示され、対話的な学びを促す工夫がされている。(1年 p. 117、120)</p> <p>○実験の流れに沿って機器の扱い方が「基本操作」として丁寧に説明されている。(1年 p. 92)</p> <p>○章始めにCan-Do Listがあり、3観点の「資質・能力」が各章の学習内容に対応してどのような目標となるか例示されている。(1年 p. 68)</p>	<p>○「つながり○○」として他教科との関連を示すマークが付けられている。(1年 p. 24)</p> <p>○コラム「サイエンスカフェ」では、学習内容が実生活に関連していることを示す多彩な資料を用意している。(3年 p. 31、71、180)</p> <p>○各学年でSDGsについて取り上げられ、環境保全の態度を育む工夫がされている。(1年 p. ⑤)</p>	<p>○各学年の巻末に、アイデアボードとして機能するページが設けてあり、生徒同士の話し合いに活用でき、学び合う態度が育成できるように配慮されている。</p> <p>○各章末の「学びを日常に生かしたら」では、生活と結びついた発展課題が設定されており、学習したことを生活に生かす内容になっている。</p> <p>○コラムや基本問題を電子化(QRコード教材100種類以上)し、教科書は現行版に対し20%軽量化。</p>	<p>○探求的な活動の方法が記載されており、3つの資質・能力を意識しながら生徒が主体的に学習できるように配慮されている。</p> <p>○既習内容の振り返りや繋がりを意識して学べる工夫がされている。</p> <p>○学習内容が精選され余裕をもって学習できる分量になるよう配慮されている。</p> <p>○「ストップ!!」マークの表示で実験の安全に配慮してある。</p> <p>○UDの視点で色使いやレイアウトに配慮してある。</p>
G	<p>○「疑問を見つける」の場面では、生徒が生活体験や自然の事物・現象から疑問を見出す様子が表現され、主体的に学習を進められるよう配慮されている。(1年 p. 82)</p> <p>○総授業時数の90%程度で指導出来るような分量になっている。</p> <p>○「要点チェック」「要点と重要用語の整理」「基本問題」「学年末総合問題」の4ステップで学習内容の定着を図っている。(3年 p. 23、41、61、62～65)</p>	<p>○各学年巻頭の「探求の進め方」によって学習活動をどのように進めていくか明示し、折込を開くことで本文見ながら探求の流れを参照できる。(3年 p. ⑤)</p> <p>○実験・観察の目的から方法、結果までが、見開きの2ページにまとめて配置してあり、見通しをもって取り組むことができるよう工夫されている。(3年 p. 48、49)</p> <p>○視点移動が複雑にならないよう、上から順に読み進められる脚注レイアウトになっている。(1年 p. 89、188)</p>	<p>○コラム「ハローサイエンス」では、身近な科学の話題や最先端の科学の話題を紹介し、興味・関心を高める工夫がされている。(2年 p. 22)</p> <p>○各章の始めと終わりに「学習前の私」と「学習後の私」という問いを設定し、自らの変容を認識できるよう工夫されている。(3年 p. 188、205)</p> <p>○発達段階を考慮して文字サイズを学年によっての変更し、読みやすくなるよう工夫している。</p>	<p>○各学年巻頭に「探求の進め方」としてまとめて示されている。(1年 p. ⑤-2)</p> <p>○「禁止」「注意」「指示」の3区分のマークが大きく記載され、観察・実験を安全に実施できるように工夫されている。(3年 p. 31)</p> <p>○レポートの書き方とレポートの例が掲載されていて、思考力・表現力を育成できるよう工夫されている。(2年 p. 3、72、107)</p>	<p>○算数・数学との連携が重視されており、「ブリッジ算数・数学」では、算数・数学科で学習する内容との関連を示し、生徒が学んだ知識をつなげやすくなるよう配慮されている。(2年 p. 248)</p> <p>○巻末に「理科で使う算数・数学」がまとめてある。(3年 p. 349)</p> <p>○「思い出そう」や「発展」の項目が用意されていて、小・中・高の接続を意識して学習できるよう工夫されている。(3年 p. 21～23、153、171)</p>	<p>○各学年の巻末に、付録の生物カード、原子のモデルカード、星座早見作成シートがついている。</p> <p>○重要用語は、太い色文字で強調され読み仮名をつけるように配慮されている。(1年 p. 81)</p> <p>○ウェブサイト「まなびリンク」でコンテンツ(外部サイト)を見ることで、学校での学習の補完や自宅での事前学習・復習に利用することができる。(2年 p. 185)</p>	<p>○巻頭の「探求の進め方」に沿って実験を行い、科学的な思考力・表現力が身につくよう配慮されている。</p> <p>○算数・数学との連携を重視しながら、小中高との接続を意識して学習できるよう工夫されている。</p> <p>○実験の分量・内容ともに適切である。</p> <p>○「禁止」「注意」「指示」のマークで安全に配慮されている。</p> <p>○UDのフォントやカラーが用いられ、重要用語は太い色文字を使用する工夫がある。</p>

## 選 定 に 必 要 な 資 料

種目名 : 理科 No. ( 3 )

記号	選定に必要な資料の観点						総括
	1. 内容、程度、分量等	2. 教材の選択や構成等	3. 興味・関心への配慮等	4. 教科の特性、地域の実態や課題への適合等	5. 各教科及び実生活との関連についての工夫	6. その他	
L	<p>○単元名を各学年で、生命・地球・物質・エネルギー・環境(3年)に統一し、系統性をとらえやすくしている。</p> <p>○主体的・対話的で深い学びの実現を目指し、探究の流れに沿って活動できるような内容になっている。</p> <p>○総授業時数の90～95%程度で指導できるような分量になっている。</p>	<p>○各単元始めの「学ぶ前にトライ!」、単元末の「学んだあとにリトライ!」で同じ問いを再考し、学習による成果を確認することができる。</p> <p>(3年 p. 47、93)</p> <p>○理解しにくい、または、誤解しやすい内容に例題や「基本のチェック」「なるほど」を設定し、生徒のつまづきを解決できるよう工夫されている。</p> <p>(1年 p. 222、226)</p> <p>○本文は見開きの中央に、関連資料は周囲に配置されている。</p> <p>(1年 p. 146、216)</p>	<p>○単元の導入に好奇心を刺激する1枚写真があったり、科学にアクセスのQRコードで単元内容がイメージできる動画が視聴できたりする。</p> <p>(2年 p. 70、71)</p> <p>○理科の有用性を感じさせる科学コラムが全学年で128項目あり、部活・料理・仕事など幅広い内容が取り上げられている。</p> <p>(3年 p. 199)</p>	<p>○様々な疑問を探究的に解決する探Q実験が各学年4実験ずつ用意されている。巻末に実験に対応した探Qシートがある。</p> <p>(3年 p. 23、24)</p> <p>○教科書全体が、災害の経験から得た知恵を未来に活かす「未来志向型の防災・減災教育」の考えに沿って記述されており、防災意識を高めるように工夫されている。</p> <p>(1年 p. 82、2年 p. 122～125、3年 p. 292～295)</p>	<p>○「○○と関連」のマークで他の教科との関連が示され、教科横断的な理解に繋がるような配慮がある。</p> <p>(2年 p. 34、238)</p> <p>○各単元末に「広がる世界」として、読み物を掲載し、学習内容が社会や未来に広がっていることを知る機会としている。</p> <p>(1年 p. 264、265)</p> <p>○巻末「サイエンス資料」で、理科でよく使う算数・数学の知識について記載し、他教科との関連についても本文中でマークをつけ、明示されている。</p> <p>(2年 p. 295)</p>	<p>○各学年とも巻末に「探Qシート」がついており、書き込みをしながら探究の流れをつかみ、主体的・対話的な学びにつながる実験ができるよう工夫されている。</p> <p>○QRコードを介したコンテンツが310項目用意され、授業での一斉解説への利用や家庭での主体的な学習への利用ができるようになっている。</p> <p>(1年 p. 132、194、195)</p> <p>○大田市の海岸や日御碕の流紋岩、浜田市の礫岩などが取り上げられている。</p> <p>(1年 p. 71、96、104)</p>	<p>○探究する力を身につけるために、「探Q実験」や「探Qシート」などの工夫がされている。</p> <p>○「関連」マークにより教科横断的な理解につながるよう配慮されている。また、各学年の単元を生命・地球・物質・エネルギーで統一し、系統性を持たせている。</p> <p>○学習内容、観察・実験ともに適切な分量である。</p> <p>○観察・実験の「注意・安全」マークで安全への配慮がされている。</p> <p>○メディアUD、UD書体が用いられている。</p>

# 選 定 に 必 要 な 資 料

種目名 : 音楽 (一般) No. ( 1 )

記号	選定に必要な資料の観点						総括
	1 内容、程度、分量等	2. 教材の選択や構成等	3. 興味・関心への配慮等	4. 教科の特性、地域の実態や課題への適合等	5. 各教科及び実生活との関連についての工夫	6. その他	
G	<p>○1年間で学習内容が、「学びのユニット」に、学びのねらいと教材や活動、学びを生かして比べる曲等が示されており、「学びのてがかりとなるヒント」として、その楽曲で扱える音楽の要素も示されている。 (1年、2・3年上下 p.4)</p> <p>○音楽的な見方・考え方を働かせて主体的に学ぶこと、協同的に学ぶことを重視しており、その具体的な学習例も示されている。 ○歌唱・創作・鑑賞の学習がバランスよく設定されている。</p>	<p>○学びのねらいに向かいやすい楽曲を取り扱っており、主要教材で学んだことを生かして、より確かな学びとなるように「比べてみよう」の教材が設定されている。 必要に応じてさらに学びが深められるよう「深めてみよう」の教材も設定されている。 ○「ACTIVE!」では、主体的で・対話的で深い学びの実現に向けて学び合える活動ができるよう工夫されている。「話し合おう」によって協同的な活動もできる。</p>	<p>○教材の配列を工夫して、学習内容の関連が図られている。 ○写真や絵が多用されており、学習活動もわかりやすく、興味をもちやすい内容になっている。 ○教科書に沿って学習することで、見通しをもって学習ができるようになっている。 ○学習者用デジタル教科書で学びが深められる。 ○学習に集中できるようにユニバーサルデザインで作られている。</p>	<p>○我が国や郷土の伝統音楽に愛着がもてるよう鑑賞と表現の活動が関連づけられている。 ○郷土の音楽や芸能では、写真や解説などたくさん資料が掲載されている。(1年 p.46 等) ○日本の音楽と世界の音楽の共通性と固有性を考える「何が同じで、何がちがう」が各学年に設定されている。 ○「CMをつくろう」では、地域を紹介するCM作りを取り扱い、総合等との関連が図られるよう工夫されている。 (2・3年下 p.24)</p>	<p>○日本や世界の歴史とつなげて学ぶことができる教材を扱っている。 ○「音ってなあに？」(1年 p.66)では、物理的な視点から音のしくみに、「私たちのくらしと音楽」(2・3年上 p.70)では、知的財産権に、「コンピュータと音楽」(2・3年下 p.64)では、インターネット社会に触れられている。 ○SDGs&lt;持続可能な開発目標&gt;に関連のある教材を扱っている。 (2・3年下 p.66、74)</p>	<p>○教科書の内容にリンクした動画、音声、ワークシートを活用できるよう「まなびリンク」の活用ができる。 ○特別支援教育の観点から紙面構成されている。 ○学習者用デジタル教科書だけでなく、指導者用デジタル教科書もあり、楽譜連動再生や創作ツール、動画、ワークシートなど、授業の可能性が広がる。</p>	<p>○全学年を通じて「学びのユニット」で、何を学ぶのか、ねらいや「音楽を形づくっている要素」などもわかりやすく示されている。 ○主体的・対話的で深い学びに向けての工夫がされており、教科書に沿って学習をすることで、学びが深まるよう工夫されている。 ○3年間を通じて、我が国と世界の音楽の共通性と固有性を比較することによって、それぞれの音楽文化の理解が深まるよう工夫されている。</p>
H	<p>○1年間で学習する内容が分かる「学びの地図」が掲載されており、生徒にとって各教材を通して自分がどのような音楽の力を身に付けられるかが明確化されている。 (1年、2・3年上下 p.8)</p> <p>○ユニバーサルデザイン (UD) への配慮がされており、読みやすい字体や分かりやすい紙面になっている。 ○義務教育9年間の系統性と一貫性を重視して学習内容が配列されている。</p>	<p>○教科書の手順に沿って学習を進めることで、主体的・対話的で深い学びを実現することができるように工夫されている。(1年 p.30 など)</p> <p>○生徒が自分の考えを書き込んで整理しながら学習を進めることができるように、ワークシートが多数掲載されている。(1年 p.47 など)</p>	<p>○紙面に QR コードが印字しており、ICT 機器を使って動画や音声などの情報を視聴、閲覧することができる。 ○生徒が実感や親しみをもって学習を進められるように、体を動かしながら行う体験活動が多く取り入れられている。(2年 p.50 など)</p> <p>○「音楽を形づくっている要素」を通して、学んだ学習を振り返ることができ、次の学びにつながる工夫されている。 (1年 p.67)</p>	<p>○生徒が興味・関心をもって自分の住む地域の文化に親しむことができるよう、日本各地に伝わる民謡、祭りや芸能を教材として取り上げるとともに、中学生が郷土の祭りや芸能の担い手として活躍している様子が紹介されている。 (2,3年下 p.54)</p>	<p>○楽曲の歌詞の内容や写真については、道徳教育や人権教育の観点に立って選ばれており、生徒が自分の個性を生かしながら、多様な他者を価値ある存在として尊重し、共同していくことができるように配慮されている。 ○「生活や社会の中の音楽」では、学年に応じたテーマを設け、音や音楽と生活や社会との関わりについて、徐々に視野を広げて考えられるよう工夫されている。 (2,3年下 p.68)</p>	<p>○生涯にわたり音楽文化に親しむ態度を育むことができるように、クラシック音楽やポピュラー音楽など多彩なジャンルの作品が紹介されている。 (2,3年下 p.40)</p> <p>○三大芸能といわれる「能」「文楽」「歌舞伎」について、写真や資料の充実が図られ、生徒が自国の文化に誇りをもち、興味・関心をもって学習を進められるよう配慮されている。</p>	<p>○各教材に「学習目標」、「活動文」、「音楽を形づくっている要素」が掲載されており、生徒にとっては身に付けられる学力が一目で分かり、教員にとっては学習指導計画を立てる際や、評価基準を考える際の参考にすることができる。 ○3年間を通して、我が国や郷土の伝統音楽に系統性をもって学習できるように工夫されている。</p>

## 選 定 に 必 要 な 資 料

種目名 : 音楽 (器楽合奏) No. ( 1 )

記号	選定に必要な資料の観点						総括
	1 内容、程度、分量等	2. 教材の選択や構成等	3. 興味・関心への配慮等	4. 教科の特性、地域の実態や課題への適合等	5. 各教科及び実生活との関連についての工夫	6. その他	
G	<p>○「学びのねらい」→「学びのポイント」→「まとめの曲」の順に、基本的な奏法から練習課題までが見開きになっており、学習を見通せるように構成されている。</p> <p>○和楽器を扱う教材には口唱歌についても扱われており、楽器によって違うことが比較できるようにになっている。(p. 23)</p>	<p>○ソプラノとアルト、どちらでも学習ができるようになっている。</p> <p>○篠笛や尺八、箏、三味線、和太鼓等と和楽器も扱っており、それぞれに練習曲が掲載されている。</p> <p>○器楽にも「何が同じで、何が違うか」があり、吹く楽器、弾く楽器それぞれの特徴を考えられるようになっている。(p. 52 等)</p> <p>○様々な楽器でアンサンブルができるように、アンサンブルの楽曲も多く掲載されている。</p>	<p>○特に和楽器では、写真がたくさん掲載されていて、教科書を見たらどのように演奏すればよいのかが見てわかるようになっている。</p> <p>○見やすい資料が多数掲載されており、口絵には箏と篠笛の家元からのメッセージも掲載されており、学びのその先へ通じる読み応えのある内容になっている。</p> <p>○和楽器でもポピュラー音楽が演奏できるように様々な楽曲が掲載されている。(p. 84 等)</p>	<p>○「学びのユニット」は、「吹く楽器の仲間」「弾く楽器の仲間」「叩く楽器の仲間」に分類されており、地域や学校の実態、生徒の発達段階に応じて多様な構成が検討できるようにになっている。</p> <p>○箏や三味線では鑑賞と表現、表現と創作との関連を図ることができるように工夫されている。(p. 42、50)</p>	<p>○生涯にわたり音楽文化に親しむ態度を育むことができるように、ギター&amp;キーボード表を大きく見やすく表にされている。(口絵③)</p>	<p>○「まなびリンク」では、模範演奏の試聴や、楽器のさらに詳しい解説を見ることができる。</p> <p>○器楽アンサンブルだけでなく、楽器を使わないリズムアンサンブルの楽曲も扱っている。(p. 90、91)</p> <p>○鑑賞教材とリンクした曲が扱われており、鑑賞と表現の関連を図ることができるように工夫されている。(p. 94 等)</p>	<p>○見開きごとに学習を見通せるようになっている。</p> <p>○洋楽器と和楽器のどちらも学習でき、それぞれの特徴を比べたり考えたりする場面もあり、協同的な活動によって深い学びへ向かえるように工夫されている。</p> <p>○地域や学校の実態に合わせて多様な学習ができるようになっている。</p>
H	<p>○1年間で学習する内容が分かる「学びの地図」が掲載されており、生徒にとって各教材を通して自分がどのような音楽の力を身に付けられるかが明確化されている。(p. 8)</p> <p>○様々な楽器が紹介されているが、生徒が主体的に学習できるように、基礎的な奏法に始まり、練習課題が多く用意されている。</p>	<p>○様々な合奏体験ができるように、アンサンブル曲が多数掲載されている。</p> <p>○アンサンブルで生徒が意欲的に活動に取り組むことができるように、掲載されている打楽器の種類が増えている。(カホン、ジェンベ、ドラムセット)</p> <p>○「六段の調」の唱歌では、1年 p. 56「六段の調」の鑑賞との関連を図ることができるように工夫されている。(p. 46)</p>	<p>○ソプラノリコーダーの扱いが充実し、小学校からの学びをさらに深めることができるように工夫されている。</p> <p>○演奏者からのメッセージを通して、より主体的・対話的に学びに向かうことができるように工夫されている。(p. 62)</p> <p>○「楽器でMelody」では、箏や三味線など、和楽器でもポピュラー音楽が演奏できるように様々な楽曲が掲載されている。(p. 96)</p>	<p>○生徒が興味・関心をもって和楽器に親しむことができるよう、実際に取り組んでいる同年代である中学生の奏者へのインタビューが紹介されている。(p. 107)</p>	<p>○音や音楽が、生活や社会、文化とどのように関わり、どのような意味や価値をもつのかを、生徒が意識的に考えるページが新設されている。(p. 75)</p> <p>○生涯にわたり音楽文化に親しむ態度を育むことができるように、ギターやキーボードに対応したコード表が資料として掲載されている。(p. 102)</p>	<p>○「音楽ってなんだろう？」では、人はなぜ演奏するか、音楽を聴くとはどういうことなのかなど考えることで幅広い価値観を養うことができるように工夫されている。(p. 4)</p>	<p>○各教材に「学習目標」、「活動文」、「音楽を形づくっている要素」が掲載されており、生徒にとっては身に付けられる学力が一目で分かり、教員にとっては学習指導計画を立てる際や、評価基準を考える際の参考にすることができる。</p>

# 選 定 に 必 要 な 資 料

種目名 : 美術 No. ( 1 )

記号	選定に必要な資料の観点						総括
	1. 内容、程度、分量等	2. 教材の選択や構成等	3. 興味・関心への配慮等	4. 教科の特性、地域の実態や課題への適合等	5. 各教科及び実生活との関連についての工夫	6. その他	
D	<p>○美術2・3では、鑑賞中心の題材が多く取り上げられており、鑑賞領域での学びを重視した内容となっている。</p> <p>○各巻末に知識や技能に関する学びの資料が豊富に設けられている。</p> <p>○参考作品に立体作品が多く取り上げられており、表現の多様性を感じ取ることができる内容になっている。</p>	<p>○「身につけたい力」が目標として示されており、生徒が見通しを持ち意識して学習できるような構成となっている。</p> <p>○学びのテーマが、表紙の作品から巻頭ページにわたってわかりやすく示された構成となっている。</p> <p>○1年では、制作する中学生の写真を掲載することで、学習を身近なものとして感じられる工夫がされている。</p>	<p>○QRコードにより、掲載されていない情報を得ることができるようになっている。(所蔵先美術館等へのリンク、作者情報、技法動画など)</p> <p>(2・3年 p. 40、p. 113)</p> <p>○関連する資料ページにわたってわかりやすく示された構成となっている。</p> <p>○興味・関心によって主体的な学びが促される工夫がされている。</p>	<p>○各地で受け継がれる伝統工芸について取り上げられており、(1年 p. 38、p. 41)(2・3年 p. 82～91)特に、文化の形成や伝統の継承については、その重要性を紹介する内容を取り上げている。(名古屋城復元プロジェクト2・3年 p. 2～4)</p> <p>○正しい知識をもって作品が理解できるよう、美術用語の説明が添えられている。</p>	<p>○各題材において他教科との関連がわかりやすく表示されている。</p> <p>○身近な生活や社会に関連した題材を取り上げる工夫がされている。(地域おこし1年 p. 41、機能美 p. 42～43)</p> <p>(わかりやすく伝える2・3年 p. 64～77)</p> <p>(SDGs2・3年 p. 63)</p>	<p>○作者のことばや作家へのインタビュー、制作場面を取り上げることで作品理解がより深まるように工夫されている。</p> <p>(1年 p. 9、p. 11、p. 13、p. 15、p. 34～35、2・3年 p. 10、p. 24)</p> <p>○美術で学んだことが社会でどう生かされるのかを様々な職業人からのメッセージとして紹介している。</p> <p>(2・3年 p. 6～7)</p>	<p>○まとめのページを設け、3年間で学んだことをどう生かしていくかを考えさせる構成になっている。(「美術の力を生かして社会とかかわる」2・3年 p. 92～105)</p> <p>○鑑賞題材や資料が豊富に取り上げられ、生涯にわたって美術を愛好する心情を育む教科書になっている。</p> <p>(1年 p. 65、p. 66)</p> <p>(2・3年 p. 36～37、p. 38～61)</p>
I	<p>○1年では、美術の学び方についてオリエンテーションのページを設け、小学校美術からスムーズに移行できるよう工夫されている。</p> <p>(1年 p. 6～9)</p> <p>○確かな知識や技能が習得できるような内容・構成となっている。</p> <p>(美術史ワード 2・3年 p. 15、p. 17、p. 30、海を越えた文化交流 2・3年 p. 90～p. 96、世界文化遺産 2・3年 p. 100～101)</p>	<p>○各題材において学びの流れに沿って教科書が使えるよう、工夫されたわかりやすい構成になっている。</p> <p>鑑賞→表現(発想・構想)→表現(みんなの工夫)→鑑賞</p> <p>○制作過程が、中学生の制作の姿とともに掲載され、取り組みの助けとなるよう工夫されている。</p> <p>○多くの題材で「比較すること」での生徒の気づきが促されるような構成となっている。</p> <p>(1年 p. 14、p. 30～36、p. 50～51、2・3年 p. 26～27、p. 37～38)</p>	<p>○QRコードの内容がわかりやすく表示されており、生徒の興味・関心に応える豊富な内容となっている。</p> <p>(朗読1年 p. 4p、制作の様子 2・3年 p. 20、プロジェクトンマッピング 2・3年 p. 80)</p> <p>○3人のキャラクターを登場させ、吹き出しを使うなどして生徒にとって親しみやすさを感じさせる工夫がされている。</p>	<p>○発想や構想する際のヒントが、写真や作者のことばで示されており、表現活動の動機を導き、生徒が自分の制作に活かしていけるような工夫がされている。</p> <p>○日本各地の美術品や工芸品が全県にわたり取り上げられている。</p> <p>(2・3年 p. 97～99)</p> <p>○地域の活性化を考える題材が取り上げられている。</p> <p>(2・3年 p. 70、p. 71、p. 102)</p>	<p>○各教科との関連がコラムとして詳しく取り上げられている。道徳科との関連はページ下の項目が示されている。</p> <p>(1年 p. 37、p. 43、p. 53、p. 74)</p> <p>○身近な生活の中でのデザインの役割がわかりやすく紹介されている。</p> <p>(デザインって何だろう 1年 p. 38～p. 39、形や材料を比べてみよう 1年 p. 50～p. 51、さまざまな椅子のデザイン 2・3年 p. 68～p. 69)</p>	<p>○本物により近い表現が感じられるように和紙を使用したページを設けている。</p> <p>(1年 p. 19～p. 20)</p> <p>(2・3年 p. 37～p. 38)</p> <p>○他教科の教科書とサイズが同じ(A4)で使いやすい。</p>	<p>○掲載内容が整理・統一され、見やすくわかりやすい紙面となっており、授業の中で活用できる教科書となっている。</p> <p>○社会の様々な問題と美術の役割について目を向けられる題材が多く取り上げられている。</p> <p>(平和へのメッセージ 2・3年 p. 42～p. 56、LGBT2・3年 p. 59、防災2・3年 p. 61、ユニバーサルデザイン 2・3年 p. 62～p. 63、自然災害後の建築物 2・3年 p. 74～p. 75)</p>

## 選 定 に 必 要 な 資 料

種目名 : 美術 No. ( 2 )

記号	選定に必要な資料の観点						総括
	1. 内容、程度、分量等	2. 教材の選択や構成等	3. 興味・関心への配慮等	4. 教科の特性、地域の実態や課題への適合等	5. 各教科及び実生活との関連についての工夫	6. その他	
○	<p>○分野ごとに新しい出会いのページを設け、学習の内容が理解できるように工夫されている。 (1年 p.10～、p.26～、p.38～)</p> <p>○資料(技法・色彩・鑑賞)が、わかりやすく豊富に掲載され、生徒の学びを支える工夫された内容となっている。 (1年 p.58～75、2・3年上 p.50～65、2・3年下 p.48～57)</p>	<p>○学びのテーマをわかりやすいことばで示し、生徒の発達段階に応じた学習活動ができるよう3分冊の構成となっている。 (巻頭・巻末ページ)</p> <p>○各題材が、表現と鑑賞を相互に関連させながら学習を深めていけるような構成となっている。</p>	<p>○QRコンテンツは、生徒の興味・関心に十分に与えられる充実した内容となっており、生徒が主体的に情報を得ながら学習を深められる工夫がされている。</p> <p>○題材の見出しが内容をつかみやすく、生徒の意欲が高まるようなことばで表されている。</p> <p>○発想や鑑賞の切り口となる問いかけが「造形的な視点」として示されており、学びを深めるための工夫がされている。</p>	<p>○美術の役割を問題発見・課題解決の方法としてとらえ、考えさせる題材を取り上げている。 (2・3年上 p.38～49、2・3年下 p.24～30、p.44～45)</p> <p>○「祭りを彩る造形」では、津和野町の鷺舞が取りあげられており、地域の文化を改めて理解し誇りに思うきっかけとなる。 (1年)</p> <p>○国宝や重要文化財にわかりやすくマークがつけられている。</p>	<p>○道徳との関連が、生徒に呼びかけるかたちでわかりやすくさりげなく記述されている。</p> <p>○身近な生活(学校・地域、家庭)の中の造形を取り上げ、美術と生活、社会との関わりを考えさせる題材が取り上げられている。 (1年 p.43、44、47、2・3年上 p.38、39、2・3年下 p.46～p.47)</p>	<p>○鑑賞題材では、見開きのページを使って効果的に鑑賞できるよう工夫されている。 (1年:屏風、2・3年上:原寸大、2・3年下:部分拡大)</p> <p>○社会で活躍する人々からのメッセージが紹介されており、学んだことをどう生かしていくかを考えさせる内容となっている。 (各巻巻頭ページ「学びのことば」、2・3年下「社会に生きる美術の力」)</p>	<p>○生徒の発達段階に応じて学びのテーマが明確に示され、構成された教科書となっている。</p> <p>○表紙の作品が学びのテーマに合わせて選択されており、学年のスタートに鑑賞する作品としてふさわしいものとなっている。(各巻)</p> <p>○他者とのかかわりや社会とのかかわりを考えられるような題材が各巻で設定されている。</p>

# 選 定 に 必 要 な 資 料

種目名 : 保健体育 No. ( 1 )

記号	選定に必要な資料の観点						総括
	1. 内容、程度、分量等	2. 教材の選択や構成等	3. 興味・関心への配慮等	4. 教科の特性、地域の実態や課題への適合等	5. 各教科及び実生活との関連についての工夫	6. その他	
A	<p>○各章扉では、小・高で学ぶ内容が示されたり、道徳科との関連や偉人の紹介があったりして、生徒の関心を高め、意欲的系統的に学習できるよう工夫されている。(p. 5、19、49、61、91)</p> <p>○各ページの余白が広く設けてあり、本文や資料が見やすいよう配慮されている。(p. 14、15)</p> <p>○保健編・体育編の内容を学年ごとにまとめ、学習内容が明確にわかるようにされている。</p>	<p>○「見つける」で課題をつかむところから始まり、「課題の解決」、「活用する」、「広げる」と学習の流れがわかりやすいような構成がなされている。(p. 62、63)</p> <p>○各章末に「確認の問題」、「活用の問題」、「日常生活に生かそう」が準備されており、学習内容が定着するよう工夫されている。(p. 89、90)</p>	<p>○教科書の随所にキャラクターを用いて学習のヒントやポイントを伝えることで、生徒が興味・関心を持ちながら学習できるよう配慮されている。(p. 10 他)</p> <p>○学習内容に関連する読み物資料を掲載し、興味・関心を高め、学習内容が深められるよう工夫されている。(p. 21、33)</p> <p>○絵や章末資料、読み物などで今日的な課題に係る資料を多く掲載し、学びの意欲を高める工夫が見られる。(口絵 1~2、P. 46)</p>	<p>○各章の終末に「様々な自然災害の危険と避難」「インターネットと依存症」「SDGs から考えよう」などの今日的な課題に関する資料が掲載され、探究的な学習ができるよう工夫されている。(p. 109、166)</p> <p>○各時間の「活用する」では、自分の意見をまとめて発表する活動を通して、学習内容を活用して思考力・判断力・表現力を高められるよう工夫されている。(p. 99、101)</p>	<p>○「広げる」では、自分たちの生活や身近な地域について考えるよう促し、家庭や社会生活に関連付けて学習できるよう工夫されている。(p. 73、161)</p> <p>○体験的に身に付ける演習が用意されており、具体的な対応を身に付けることができるよう工夫されている。(p. 39、45)</p> <p>○「日常に生かそう」により学習内容を日常生活に結び付けるための工夫がある。(p. 48、90)</p>	<p>○学習内容に関連する動画やシミュレーションなどをインターネットで学べるコンテンツが用意されており、学習を支援し理解度を高められるよう工夫されている。(p. 1)</p> <p>○感染症について、手洗いの方法を写真付きで掲載し、生徒が感染症の予防について具体的に学習できるよう工夫されている。(p. 165)</p> <p>○ユニバーサルフォントの使用したりや振り仮名を付したりして生徒の多様性への工夫が見られる。</p>	<p>○各時間の冒頭の「見つける」でつかんだ学習課題について、資料を手掛かりにして、課題解決につなげていけるよう配慮されている。(p. 22、23)</p> <p>○各章扉に、「この章で学習すること」とともに、他教科とのつながりや、学習内容に関わりのある偉人の紹介があり、生徒が興味を持って学習できるよう工夫されている。(p. 91)</p>
B	<p>○各章扉には中学生の写真が掲載されるとともに、学年ごとにまとめた構成となっているため学習内容をイメージしやすくなっている。</p> <p>○小学校で学習してきたことや、高等学校で学習することが示され、系統的に見通しを持ちながら学習することができるよう工夫されている。(p. 15、29、71)</p> <p>○学習内容と関連した資料の注釈が見出しについており、本文の内容と資料との関係が分かりやすく記載されている。(p. 90、91)</p>	<p>○左ページが本文内容、右ページが関連資料になっており、授業者が授業を進めやすく、生徒が学習内容を整理しやすいうよう配慮されている。(p. 16)</p> <p>○各時間のタイトルのすぐ右に「学習のねらい」として、目標をわかりやすく示すことで、学習内容が明確になり、見通しが持つて学ぶことができる工夫されている。(p. 8、30)</p>	<p>○学習内容と関連の深い話題や読み物が「ミニ知識」や「トピックス」として紹介され、学習を広げたり、深めたりできるよう工夫されている。また、「リンク」により関連した内容が示される工夫がされている。(p. 72、73)</p> <p>○大きく、強い印象をうける写真が使用されており、生徒の興味・関心を高められるよう工夫されている。(p. 100、101)</p>	<p>○心肺蘇生法の手順が折り込み式のページで掲載され、流れと方法を同時に見ることができ、授業者が説明しやすく、生徒も理解しやすいうよう工夫されている。(p. 107、109)</p> <p>○各時間に「話し合ってみよう」や「やってみよう」が設定しており、資料を参考に、学びを深めることができるよう工夫されている。(p. 73)</p> <p>○各章の章末にある豊富な資料で本文に関連した情報をサポートする工夫がある。(p. 162、163)</p>	<p>○現代的な課題である、スマートフォンなどの情報機器の活用について、口絵に資料を設け、日常生活において生徒の意識が高まるよう配慮されている。(口絵 p. 13、14)</p> <p>○関連した内容を学習するページを示す「リンク」が設けられ、学習内容のつながりを意識した学習ができるよう配慮されている。(p. 20、56、150)</p>	<p>○各章間の資料に「中学校保健体育 Web」があり、関連内容を動画や資料を使って、より深い学びができるよう工夫されている。(p. 124)</p> <p>○各章末の「学びを活かそう」のページで、学習したことを普段の生活でどう生かすのか考えることができるよう工夫されている。(p. 27)</p> <p>○各ページにある「活用して深めよう」により学習内容の深化と実用への工夫がある。</p>	<p>○左ページが本文内容、右ページが関連資料になっており、生徒が学習内容を整理しやすいうよう配慮されている。(p. 16)</p> <p>○関連した内容を学習するページを示す「リンク」が教科書の同一場所に示されており、生徒がどこに何が書いてあるか分かりやすく。見通しをもって学習できるよう工夫されている。(p. 24、60)</p>

# 選 定 に 必 要 な 資 料

種目名 : 保健体育 No. ( 2 )

記号	選定に必要な資料の観点						総括
	1. 内容、程度、分量等	2. 教材の選択や構成等	3. 興味・関心への配慮等	4. 教科の特性、地域の実態や課題への適合等	5. 各教科及び実生活との関連についての工夫	6. その他	
K	<p>○文字数が少なく、コンパクトにまとめられている。資料を見ながら視覚的に理解できるよう工夫されている。(p.100、101)</p> <p>○学習の要点や重要語句が見出しに使われており、重要点が明確になるよう工夫されている。</p> <p>○現代的な課題である「がん教育」として特設ページを設けている。(p.80～83、93)</p>	<p>○「きょうの学習」として、目標をわかりやすく示すことで、学習内容の見通しがもてるよう工夫されている。(p.81、85、87)</p> <p>○「章のまとめ」では、「知識・技能」、「思考・判断・表現」、「学びに向かって」の問題が用意されており、各観点に沿った学習の振り返りができるよう工夫されている。(p.118、119)</p> <p>○「クローズアップ」や「特資料」により学習したことを広げたり、深めたりできるよう工夫されている。</p>	<p>○各時間の学習の冒頭に「課題をつかむ」を設け、導入時に生徒の興味・関心を高められるよう工夫されている。(p.108)</p> <p>○中学生の興味・関心の高い話題や心に響く事例等を「コラム」として掲載し、学習意欲を高められるよう工夫されている。(p.76、102)</p> <p>○巻頭の口絵では生徒の多様性に応じた動機付けとなるような配慮がなされている。(口絵1～8)</p>	<p>○学んだことを実際の場面に当てはめて考える課題を設け、教科書に解答を書き込むことで、学習内容を生活場面で生かせるよう工夫されている。(p.41、43、47)</p> <p>○県の課題である体力の向上について、その要素を詳しく示し、自主的に体力向上のための計画を立てることができるよう工夫されている。(p.62、63)</p>	<p>○各章扉に、これから学習する内容が、学校や地域での自分たちの生活とどう関わっているかが示されている。学習内容を自分や実生活と結びつけながら考えることができるよう工夫されている。(p.28、29)</p> <p>○「他教科」マークにより、本時の学習内容と関連のある教科がわかりやすいよう工夫されている。(p.30、158、171)</p>	<p>○「web 保体情報館」にアクセスすることで外部サイトが利用でき、多くの情報を活用して深く学ぶことができるよう工夫されている。(p.79、81)</p> <p>○感染症について、6ページにわたって記載しており、時間をかけて、深い学習ができるよう工夫されている。(p.134～139)</p> <p>○体験的に学ぶ内容を「実習」として設定し、写真とイラストでわかりやすくなるよう工夫されている。(p.52、112、113)</p>	<p>○各章扉に、これから学習する内容が、学校や地域での自分たちの生活とどう関わっているかが示されている。学習内容を自分や実生活と結びつけながら考えることができるよう工夫されている。(p.28、29)</p> <p>○各時間の「課題をつかむ」で、中学生にとって身近な話題を取り上げることによって、自分事として課題意識を持つことができるよう工夫されている。(p.38)</p>
P	<p>○各章扉では、小・中・高それぞれの段階での学習内容を示すことで、系統性を重視し、見通しが持てるよう工夫されている。(p.42)</p> <p>○小口の色分けインデックスにより、どの学年でどの内容を学習するのか視覚的に理解できるよう工夫されている。</p> <p>○ヘルスプロモーション、共生の視点を基本とし、自他の健康・安全について考えることができるように工夫されている。(p.29、43、65、188)</p>	<p>○各時間の冒頭に「学習の目標」と「キーワード」が設けられており、1時間の学習の流れを見通すことができるよう工夫されている。(p.46)</p> <p>○「章のまとめ」では、問題だけでなく、「振り返ろう」で各章での学習を振り返り、自己評価できるよう工夫されている。(p.68、69)</p> <p>○多様性の尊重や共生社会の視点が盛り込まれている。(p.143、148)</p>	<p>○キャラクターの吹き出しによる課題解決につながる言葉かけによって、生徒が興味・関心をもつとともに、補足内容を理解しやすいよう工夫されている。(p.112、113)</p> <p>○各ページには補充的な内容や発展的な内容が取り扱われている「情報サプリ」が設けてあり、学習内容への興味・関心が高まるよう工夫されている。(p.179)</p>	<p>○「探究しようよ！」が章末に配置され、学習内容をより掘り下げ、発展的に学習できるよう工夫されている。(p.102～104)</p> <p>○各時間の「まとめる・深める」で話し合いや記述、発表などの対話的な活動が取り入れられ、言語活動や協働的な学びが促されるよう工夫されている。(p.109、113)</p> <p>○運動と健康・安全との関連を重視し、学習内容を深められるように工夫されている。(p.78、79)</p>	<p>○各章に学習内容に関連する人物の名言や功績、職業や資格などを紹介し、学習内容と社会との関連を実感できるようになっている。(p.15、73、137)</p> <p>○人間関係やストレスへの対処について、体験的に身に付ける演習が用意されており、具体的な対応を身に付けることができるよう工夫されている。(p.57、67)</p> <p>○日常の生活行動の振り返りや身近な事例から課題を見つけ学べる工夫が見られる。(p.36)</p>	<p>○教科書サイトを利用して、専門サイトにつながり、より詳しく、深い学習ができるよう工夫されている。(p.92、99)</p> <p>○巻末にキーワード別に内容がまとめられており、体育編、保健編、他教科等を横断的に学ぶことができるよう工夫されている。(p.190、191)</p> <p>○各章の「保健体育と情報」のコーナーで様々な情報を健康の保持増進に生かす大切さに気づかせる工夫がある。(p.27、151)</p>	<p>○保健編の時間が少なめに設定されており、重点的な内容について複数時間で扱うなど、各校の実態に応じて学習の計画が立てやすいよう工夫されている。(p.0もくじ)</p> <p>○現代的な課題である「がん教育」について、「探究しようよ！」で取り上げ、重点的に学習できるよう工夫されている。(p.102、103)</p> <p>○課題解決的な学習から実践力を養うための工夫が施されている。(p.30、31)</p>

# 選 定 に 必 要 な 資 料

種目名 : 技術・家庭(技術分野) No. ( 1 )

記号	選定に必要な資料の観点						総括
	1. 内容、程度、分量等	2. 教材の選択や構成等	3. 興味・関心への配慮等	4. 教科の特性、地域の実態や課題への適合等	5. 各教科及び実生活との関連についての工夫	6. その他	
A	<p>○資料の分量は少なめであるが、必要なものは網羅されている。</p> <p>○ガイダンスにあたる部分は、分量的に多くないが、3年間を見通した構成内容となっており、教科の特性もわかりやすくまとめられている。</p> <p>○「エネルギー変換の技術」では、電気、機械ともバランス良く取り上げられている。</p> <p>○教科書の横幅が増え、図や写真も大きい。</p>	<p>○説明と実習(技術)のページが分けられていてわかりやすい構成となっている。</p> <p>○「材料と加工の技術」の部品加工の一つとしてかんながけが紹介されている。</p> <p>○「情報の技術」では双方向性のコンテンツ例が多く掲載されている。</p> <p>○プログラム言語はスクラッチでの例となっている。</p> <p>○のこぎりについて、2ページにまとめられている。</p>	<p>○実験や実習などの動画が準備されている。</p> <p>○「エネルギー変換の技術」では新幹線に使われている技術を通してエネルギーに目を向ける工夫がされている。</p> <p>○加工技術の伝統的誤報にも触れ、技術継承の大切さが示されている。</p>	<p>○「生物育成の技術」ではミニトマトが主題材として取り上げられ、管理方法の説明がなされている。</p> <p>○最適化の窓から、技術の見方・考え方を育てることができる。</p>	<p>○小学校での学習内容や他教科との関連が示されている。</p> <p>○オリンピックの施設、義足が取り上げられている。</p>	<p>○巻末に用語集が掲載されている。</p> <p>○大切なことは黒色の太字で書かれている。</p>	<p>○構成がわかりやすく、副免許や免許外の教員が担当しても授業が進めやすい。</p> <p>○書体はUDフォントを使用し、カラーバリエーションの観点によるから配色でデザインがされている。</p>
C	<p>○分量は少ない。</p> <p>○フォントサイズが大きく、本が厚い。</p>	<p>○資料の分量は少なめで、生徒自身に考えさせる構成となっている。</p> <p>○文字サイズが大きく、なるべく3文で構成している。</p> <p>○のこぎりは、木材を加工する方法で1/2ページ、材料取りの見開きで他の加工方法とまとめられている。</p>	<p>○学習のねらいがきちんと明示されている。</p> <p>○行間が広くって文章が読みやすい。</p> <p>○作業にはQRコードで動画コンテンツが準備されている。</p> <p>○イラスト男女のキャラクターによる吹き出しが多い。</p>	<p>○学習の流れ3ステップ「見つける」→「学ぶ」→「ふり返る」</p> <p>○問題を発見し、課題を設定するために、身近な問題例を示したイラストを元に考える視点が示されている (p.37)</p>	<p>○巻末資料として「先輩からのメッセージ」が掲載されている。</p> <p>(p.284、285)</p> <p>○より良い技術を活用するために、プラス面とマイナス面の視点で考えるよう示されている。(p.72、73)</p>	<p>○「情報の技術」で取り上げられているプログラム例は、スクラッチ系のもので日本語入力のできる「なでしこ」が記述されている。</p> <p>○基礎技能について別冊のハンドブックにまとめられている。</p> <p>○フォントや写真・イラスト等の色が強い。(くっきりしている)</p> <p>○重要語句の視認性を上げるために、青太文字を使用している。</p>	<p>○見やすい構成となっているが、内容的に分量が少ないため、別に資料集など補助教材が必要と思われる。</p> <p>○のこぎり等実習の基礎技能は別冊のハンドブックで補間されている。</p>

## 選 定 に 必 要 な 資 料

種目名 : 技術・家庭(技術分野) No. ( 2 )

記号	選定に必要な資料の観点						総括
	1 内容、程度、分量等	2. 教材の選択や構成等	3. 興味・関心への配慮等	4. 教科の特性、地域の実態や課題への適合等	5. 各教科及び実生活との関連についての工夫	6. その他	
D	<p>○ガイダンスに当たる部分は、分量的には少なめだが、3年間の内容及び教科の特性が見通せるようになっている。</p>	<p>○木材、金属、プラスチックとも扱われている。</p> <p>○説明(参考)の部分が多く、資料集的な使い方をすることができる。</p> <p>○「エネルギー変換の技術」では電気、機械ともバランス良くまとめられているが、専門的な記述も多く、難しい面も見られる。</p> <p>○のこぎりについて、木材を切断する仕組みで1ページ半、切断の技能で2ページ。</p>	<p>○学習の目標がきちんと明示されている。</p> <p>○QRコードが付加しており、動画などのコンテンツが準備されており理解を助けている。</p> <p>○「情報の技術」ではアクティビティ図の説明が詳しくなされている。</p> <p>○QRコードが数ページ毎にありそのページの関連情報(動画)がネット経由で閲覧ができる。家庭でも視聴できる。</p>	<p>○「生物育成の技術」ではミニトマト(特産)が主題材として取り上げられ、管理方法の説明がなされている。</p> <p>○A, B, C, Dの各内容について、学習の動機づけ、基礎・基本の確実な習得、問題解決の実施、学習内容のふり返りや評価・活用を重視し構成されている。</p>	<p>○小学校や他教科との関連が示してある。</p> <p>○巻末資料として「コンピュータの基本操作、プログラミング」が掲載されている。(p.270~287)</p>	<p>○全内容の最後に、「技術分野の学習を振り返り、～」という章を設け、学習内容を振り返ることができるよう構成されている。(p.266~269)</p> <p>○本文各所の作業場面には「安全マーク」を付して、それぞれの作業に即した注意点を記述している。</p> <p>○大切な言葉は黒色の太字で記述してある。</p>	<p>○全体的に説明や資料が多いため、生徒には大切なことを見つけづらい事が予想される。指導者が取捨選択できれば、資料集的な活用ができる。</p>

# 選 定 に 必 要 な 資 料

種目名 : 技術・家庭(家庭分野) No. ( 1 )

記号	選定に必要な資料の観点						総括
	1. 内容、程度、分量等	2. 教材の選択や構成等	3. 興味・関心への配慮等	4. 教科の特性、地域の実態や課題への適合等	5. 各教科及び実生活との関連についての工夫	6. その他	
A	<p>○内容はB「衣食住の生活」C「消費生活・環境」A「家族・家庭生活」「選択生活の課題と実践」の順に構成されている。</p> <p>○小学校での学びや各教科との関連を写真やイラスト、マークを用いて示している。(p. 109、127)</p>	<p>○問題を解決する道筋と、見方・考え方が分かりやすく提示されている。(p. 8、9)</p> <p>○内容ごとの確認の問題では「学習のまとめ」「大切な用語」、関連するページが記載され、学習を振り返りしやすくなっていることで、基礎知識の定着が図られるよう工夫されている。(p. 100、101、156、157、208、209、264、265)</p>	<p>○イラストやマーク、写真を用いて、小学校の学習内容や日常生活と関連させることができるよう工夫されている。</p> <p>○「プロに聞く!」のコラムや巻末資料「学んだことを社会に生かす」を設け、学習内容と社会の関連が意識できるよう工夫されている。(p. 282、283)</p>	<p>○食生活や衣生活全般において確認が必要な内容が「いつも確かめよう」に写真付きで掲載されている。(p. 54~63、124~131)</p> <p>○「実習の衛生」と「安全と衛生」に関しては、実験写真を取り入れ、科学的根拠に基づいて理解できるようになっている。(p. 54)</p>	<p>○技術分野・他教科との関連のある内容ではマークで示して確認ができるようになっている。</p> <p>○生活の課題と実践の進め方では、課題決定のプロセスやまとめ方等参考となる資料が豊富に掲載されている。(p. 268~277)</p>	<p>○各編の導入のページに二次元コード(Dマーク)が掲載されており、インターネットを活用した学習ができるように工夫されている。(p. 21、107、159、185、213)</p> <p>○巻末に「防災・減災手帳」「子供の視野体験眼鏡」がついており、日常生活や体験活動に活用しやすい工夫がされている。</p>	<p>○特別支援教育の配慮として、ユニバーサルデザインフォントとカラーユニバーサルデザインを使用している。</p> <p>○よく使われる用語の説明が食生活・住生活・衣生活に分けて、「言葉のページ」で解説されており、知識の定着が図られるよう配慮されている。(p. 286、287)</p>
C	<p>○内容はA「家族・家庭生活」B「衣食住の生活」C「消費生活・環境」「選択生活の課題と実践」の順に構成されている。</p> <p>○各章のはじめの「自立度チェック」から生徒は自分自身の生活のことを振り返ることができるよう配慮されている。(p. 71)</p>	<p>○実践的・体験的な活動の例や、話し合い活動の際参考となる場面設定がされている。(p. 15、19)</p> <p>○「やってみよう」の学習の終わりに自己評価ができるよう工夫されている。(p. 75)</p>	<p>○巻頭の口絵には、年中行事と食事が写真とイラストで掲載され、伝統的な文化と食生活の関連が意識されるよう工夫されている。</p> <p>○「家族・家庭や地域のかかわり」ではアニメ作品を、また幼児の生活と家族では幼児の写真、イラストにはふき出しを用いて興味を持って学習できるよう工夫されている。(p. 12、13、50、63)</p>	<p>○調理器具の扱い方や材料の切り方、衣服の手入れなどが写真や図、解説などで分かりやすく記載されている。(p. 114~118、178~187)</p> <p>○「課題の実践」のながれを学習内容別に写真を用いて示してある。(p. 284~291)</p>	<p>○他教科との関連のある内容では、マークで示して確認ができるようになっている。(p. 36 など)</p> <p>○実習題材(調理・布を用いた制作)の例が豊富で生徒が取り組みやすい。</p> <p>○家庭内事故の記述がイラストを用いて、具体的に記述されている。(p. 226、227)</p>	<p>○教科書見開き右上に二次元コード(QRコード)があり、学習に関わる参考資料を動画で見ることができるようになっている。(p. 21、75)</p> <p>○実習を安全に取り組むために実際におこりうる例がまとめてある。(p. 6、7)</p> <p>○学習の振り返りページは評価の観点に合わせた記述がされている。(p. 160、234、250、280)</p>	<p>○A4変形型(AB版よりも横が7mm小さく縦に7mm大きいサイズ)で、机上で使いやすくなっている。</p> <p>○特別支援教育の配慮として、ユニバーサルデザインフォントを使用し、文字サイズが大きくなっている。また、重要語句が青色の太字で記入され、読みやすく工夫されている。</p>

## 選 定 に 必 要 な 資 料

種目名 : 技術・家庭 (家庭分野) No. ( 2 )

記号	選定に必要な資料の観点						総括
	1. 内容、程度、分量等	2. 教材の選択や構成等	3. 興味・関心への配慮等	4. 教科の特性、地域の実態や課題への適合等	5. 各教科及び実生活との関連についての工夫	6. その他	
D	<p>○A「家族・家庭生活」B「衣食住の生活」C「消費生活・環境」「選択生活の課題と実践」の順に構成されている。</p> <p>○科学的根拠に基づいて理解できるように、調理実習の場面では、「豆知識」「調理方法Q&amp;A」でなぜそうするのか解説している。(p.116～121 など)</p>	<p>○学習の内容が見開きのページで構成され、学習の目標、小学校の内容との関連が記され、学習の流れが分かりやすく記載されている。(p.18、19 など)</p> <p>○「振り返り」の欄では学んだ知識をもとに自分の考えを説明できるよう工夫されている。(p.173)</p>	<p>○教科書右下に二次元コード(QRコード)があり、実習の手順や調理・製作等の基礎技能を参考資料として参照できるようになっている。(p.29、31)</p> <p>○右ページ右上に学習内容と関連した「もの」や「マーク」の写真が掲載しており、関心を深めるよう工夫されている。(p.17～65)</p>	<p>○「生活の見方・考え方」や、「主体的・対話的で深い学び」について分かりやすく説明されている。(p.6～9)</p> <p>○巻末に自然災害・防災・減災に関わる内容があり、災害の少ない地域の生徒への指導が可能になっている。</p>	<p>○他教科、技術分野とのかかわりが右ページの右上に記されている。</p> <p>○理科「消化吸収」との関連で2ページを使い解説がされている。(p.78、79)</p> <p>○巻末にある「発展」の内容は、体験活動や自己課題を設定する際、参考にしやすくなっている。</p>	<p>○持続可能な社会国連SDGsとの関連から発展的な内容へのつながりを持たせている。</p> <p>○各章末にある学習の自己評価ができるようになっている。</p>	<p>○特別支援教育の配慮としてユニバーサルデザインフォントを使用し、読み間違いにくい改行になっている。また、色使いが見分けやすい設計になっている。</p> <p>○詳しい図や解説、写真は実物大を掲載している。(p.14、15 など)</p>

# 選 定 に 必 要 な 資 料

種目名 : 英語 No. ( 1 )

記号	選定に必要な資料の観点						総括
	1 内容、程度、分量等	2. 教材の選択や構成等	3. 興味・関心への配慮等	4. 教科の特性、地域の実態や課題への適合等	5. 各教科及び実生活との関連についての工夫	6. その他	
A	<p>○各学年の教科書は、1年11Unit (167 ページ)、2年7Unit (159 ページ)、3年6Unit (155 ページ) で構成されている。</p> <p>○学年に応じ 130～509 語の計8つの読み物教材があり、図表も合わせて必要な情報を読み取るものや人物の心情を読み取るものなど、目的に応じた読み方が指導できるよう工夫されている。(1年 p.98、2年 p.100、3年 p.110)</p>	<p>○4 技能を使いながら段階的に新出表現を習得する Unit と、学んだことを活かして複数の技能を総合的に活用し表現する Stage Activity から構成されている。(2年 p.106、109、114、118、119)</p> <p>○1 年の教科書では小学校の内容を復習しながら中学校への学習へとつなぐ工夫がされている。(1年 p.4、56)</p>	<p>○題材に現在の社会に大きな影響を及ぼした偉人の直筆メッセージやスピーチの要約等を取り上げ、生徒の興味・関心を高める内容となっている。(3年 p.55、110～113)</p> <p>○学習した題材に関連する情報を紹介する「コラム」や「一言メモ」が随所にあり、生徒が文化や歴史、社会問題等にも目を向けられるよう工夫されている。(3年 p.24、25)</p>	<p>○各ページの新出語句の下に小学校の学習でふれた単語が掲載されるとともに、巻末には一覧表もあり、小中の接続に配慮がされている。(2年 p.110、134～137)</p> <p>○各学年3、4回の「学び方コーナー」で単語の覚え方や英語学習に関するアドバイスが掲載されており、生徒が自ら学習を進めることができるよう工夫されている。(2年 p.33、3年 p.114)</p>	<p>○家庭科、理科、社会科の知識を併用して取り組む「Learning～in English」や、俳句をテーマとした単元を設定するなど、教科横断的な学習ができるよう工夫してある。(2年 p.19、3年 p.19、32)</p> <p>○目的や場面に合わせて各技能を活用する let's シリーズで、日常生活に即した英語表現の習得ができるよう工夫されている。(3年 p.29)</p>	<p>○二次元コードにより、本文の音声や映像など複数のデジタル教材につながっている。各単元の Preview では、コミュニケーションの目的、場面、状況を確認できるよう工夫されている。(1年 p.13)</p> <p>○第2線と第3線の幅をやや広げて文字の書きやすさに配慮されている。(1年 p.13)</p>	<p>○小学校で学習した単語のリストや他教科と関連付けた教材など、A3 サイズの大きな紙面を使って多岐にわたり配慮されている。</p> <p>○4 技能 5 領域を統合的に扱い、Unit の学習が定着しているか確かめる Stage Activity をはじめ、各活動には、丁寧な指示や例があり、生徒が取り組みやすくなるよう工夫されている。</p>
D	<p>○各学年の教科書は、1年10PROGRUM (159 ページ)、2年8PROGRUM (159 ページ)、3年7PROGRUM (151 ページ) で構成されている。</p> <p>○2、3 年用に 230～348 語の計5つの読み物教材があり、イソップ寓話、国語科で扱われている物語や人物の信条についての話が扱われている。(2年 p.44、3年 p.100)</p>	<p>○本文内容を自分のことばで再話する Retell、自己表現活動 Interact 等が毎単元に、また総合的な力を試す活動 Our Project が年間2、3回設定されている。(2年 p.75、76、79～80)</p> <p>○1 年生の入門期に小学校の既習事項を使って新しい友だちとやり取りできる Got Ready と、英語の文字と音が復習できる PROGUMO が設定されている。(1年 p.7～19)</p>	<p>○各 PROGRUM の冒頭に、進出表現の使用場面を2コマ漫画で分かりやすくまとめた Scenes がある。(2年 p.8)</p> <p>○各 PROGRUM の扉には、題材に関係するページ1面の写真、内容を想起する問い、単元の目標が掲載されており、生徒が見通しをもって学習をスタートできるよう工夫されている。(2年 p.89)</p> <p>○Word-Web では、様々なジャンルの単語が紹介され、英語でのやりとりの際に使いやすいよう配慮されている。</p>	<p>○単元末に本文の内容を自分の言葉で再話する Rete11 が設定されており、生徒の発信力向上と既習事項の定着を促す工夫がされている。(1年 p.109)</p> <p>○各単元の本文ページ下に音読練習回数のチェック欄設けてあり、生徒が自分の取り組みを振り返りながら主体的に学習できるよう配慮されている。(1年 p.24)</p>	<p>○睡眠や世界の子どもの生活環境など、各単元に社会問題を反映した幅広いテーマがあり、生徒が世の中の問題について考える動機となるよう配慮されている。(1年 p.69、3年 p.19、68)</p> <p>○日常場面の様々な場面を想定した Power-Up では複数の技能を合わせた活動を設定してあり、実践的に英語を活用できるよう工夫されている。(1年 p.130、3年 p.28)</p>	<p>○二次元コードにより、本文の音声や映像など複数のデジタル教材につながっている。(1年 p.23)</p> <p>○各学年巻末資料としてアクションカードがあり、一般動詞の定着のために活用できるよう工夫されている。</p> <p>○各学年巻末資料として、音声や発音について分かりやすくまとめたページがあり、学びを深められるように配慮されている。</p>	<p>○各単元に国際問題や平和など様々な分野のテーマを設定したり、単元の導入に2コマ漫画を用いたりするなど、生徒が興味をもって学習できるよう配慮されている。</p> <p>○Our Project では、生徒が相互に協力しながら習得した技能を使って総合的な言語活動に取り組めるよう、4 ページにわたって丁寧な指示や例が掲載されている。</p> <p>○ページのレイアウトがシンプルで見やすい。</p>

## 選 定 に 必 要 な 資 料

種目名 : 英語 No. ( 2 )

記号	選定に必要な資料の観点						総括
	1 内容、程度、分量等	2. 教材の選択や構成等	3. 興味・関心への配慮等	4. 教科の特性、地域の実態や課題への適合等	5. 各教科及び実生活との関連についての工夫	6. その他	
F	<p>○各学年の教科書は、1年8Lesson(147ページ)、2年7Lesson(125ページ、付録50ページ)、3年7Lesson(129ページ、付録54ページ)で構成されている。</p> <p>○学年に応じて198～473語の計6つの読み物教材があり、日本のとんち話や欧州でベストセラーとなった作品など、時代をこえて読まれている名作が多く掲載されている。(2年 p. 66、3年 p. 64)</p>	<p>○各単元は基礎を身につける Get と活用する Use の2部構成で、2、3単元を終えると複数の技能を合わせた活動 Project が各学年3回ずつ設定されている。(2年 p. 72～77、78～81、88～90)</p> <p>○1年生の入門期に、英語の文字と音や身近な単語等を復習できる Starter や、Lesson内にも小学校時に学習した単語の表示があり、小中の学びがつながるよう工夫されている。(1年 p. 8～13、17)</p>	<p>○全学年の各 Lesson の扉に、題材に関する写真と発問が2問ずつ掲載されており、導入から生徒を学習内容に引き込む工夫がされている。(3年 p. 69、87)</p> <p>○「READING FOR FUN」では、世界の名作を原作とした物語扱い、内容を楽しみながら読む力が高まるよう工夫されている。(1年 p. 144、2年 p. 122)</p>	<p>○各学年 Use Read には、必要な情報を読み取る、概要を捉える、要点を捉えるなど、目的に応じた読み方ができるように複数の活動が設定されている。(3年 p. 77、95)</p> <p>○辞書の引き方や単語の覚え方、授業での英語学習法など、生徒が自分で学習を進めるためのアドバイス For Self-study が各学年に1、2回設けられている。(2年 p. 33、3年 p. 34)</p>	<p>○車いすバスケットや公民権運動の歴史、社会への主体的な参画、平和、日本及び他国の文化など生徒の人間性を涵養する題材が多く配置されている。(1年 p. 113、3年 p. 69)</p> <p>○日常生活で役に立つ英語をまとめた「会話表現」のページには、場面や目的に応じた表現が分かりやすくまとめられている。(1年付録 p. 30～32)</p>	<p>○二次元コードにより、音声や映像など複数のデジタル教材につながっている。また付録に発音や読み物教材の補足映像などもある。(1年 p. 17、2年付録 p. 3)</p> <p>○ジャンル毎のワードリストや、つづりと発音のつながりに関する資料など表現活動に役立つ資料が付録に掲載されている。(2年付録 p. 11～20)</p>	<p>○幅広いテーマの本文と世界の名作がそろった読み物教材に加え、世界の偉人たちが残したメッセージが数多く掲載され、生徒が興味をもって学習できる工夫がされている。</p> <p>○学期1回の Project で各技能・領域をバランスよく育成できるよう工夫されている。特に聞き手に伝わる効果的な朗読やスピーチの方法など、発信力が伸びるよう工夫されている。(3年 p. 32)</p>
G	<p>○各学年の教科書は、1年9Lesson(163ページ)、2年9Lesson(167ページ)、3年7Lesson(167ページ)で構成されている。</p> <p>○学年に応じて201～496語の計8つの読み物教材があり、1年生にはユーモアのある比較的短い話が、2、3年生には偉人の生い立ちや信条についての長文が掲載されている。(1年 p. 98、2年 p. 118)</p>	<p>○各単元の多くに本文の内容要約、複数の技能を合わせた活動、文法整理が設定されている。また、Project としてプレゼンテーションの活動が年2、3回設定されている。(2年 p. 112～115)</p> <p>○小学校の学習内容を復習できる Spring board に加え、Lesson 1～3には小学校での既習事項に関連した活動が設定され、小中の学びを接続する構成となっている。(1年 p. 4～9、12～19)</p>	<p>○現在活躍している人物や日本を代表する漫画などを題材として、生徒の興味を引くように工夫されている。(1年 P. 46、47、2年 p. 118～p. 122)</p> <p>○国や地域によって異なる手話やジェスチャー、標識など、日常生活や身近な話題から社会や将来を考えられる題材が設定されている。(1年 p. 87～p. 97、2年 p. 105～p. 111)</p>	<p>○即興で話す活動に役立つ表現集 Activities Plus が各学年の巻末に活用できるよう工夫されている。(1年 p. 133～141、2年 p. 129～139、3年 p. 121～131)</p> <p>○効果的な英語学習の方法が先輩からのアドバイスという形で掲載された How to Study が各学年1回ずつあり、生徒の主体的な学びを支援する工夫がされている。(1年 p. 50、2年 p. 30、3年 p. 68)</p>	<p>○食品ロスや慈善活動などの社会問題や環境、福祉、情報、平和等 SDGs に関連したテーマを設定し、英語学習を通して生徒が社会に目を向けられるよう配慮されている。(2年 p. 82、83、3年 p. 82、83)</p> <p>○Tips では場面や目的に応じた技能を試す活動や、よりよく会話をするためのポイントを探る活動など、実際に英語が使えるよう工夫されている。(1年 p. 60、2年 p. 60、3年 p. 18、20)</p>	<p>○二次元コードにより、本文の音声などのデジタル教材につながっている。(1年 p. 23)</p> <p>○各学年巻末資料には Tips や Activities Plus で活用できる単語やフレーズのカードが付いている。</p>	<p>○世界的な社会問題から日本の地方における話題まで、各単元で幅広いテーマが設定され、生徒の視野を広げ興味をもって学習できるよう配慮されている。</p> <p>○巻末に3学年分の「Can-Do 自己チェックリスト」を掲載し、5領域ごとに到達目標や関連個所を示し、目標や課題を確認できるようにになっている。</p>

## 選 定 に 必 要 な 資 料

種目名 : 英語 No. ( 3 )

記号	選定に必要な資料の観点						総括
	1 内容、程度、分量等	2. 教材の選択や構成等	3. 興味・関心への配慮等	4. 教科の特性、地域の実態や課題への適合等	5. 各教科及び実生活との関連についての工夫	6. その他	
I	<p>○各学年の教科書は、全学年8Unit (175 ページ) で構成されている。</p> <p>○学年に応じて 52～517 語の計 8 つの読み物教材があり、特に 2、3 年生に 400～500 語の分量と時事を反映した話題から自分の考えを深められる話が配置されている。(3年 p.98)</p>	<p>○各Unitは「扉」「Part1～3」「Goal」が基本構成である。各学年3か所に学習した知識技能を活用する言語活動「You Can Do it」を設定し、5領域の技能をバランスよく伸ばす工夫がされている。(2年 p.48、49)</p> <p>○1年生のはじめに、小学校の内容を復習する Let's Be Friends!と、学習の方法がまとめられた「英語の学び方ガイド」が設定されている。(1年 p.6～24、26、27)</p>	<p>○「Let's Read」では世界のトップを走り続ける日本人アスリートへのインタビューが掲載され、中学生へのメッセージも含まれており、生徒の興味・関心を高める内容となっている。(2年 p.86～89)</p> <p>○各Unitのストーリーには、登場人物が様々な体験や交流を通して成長していく、共感しやすい内容であり、生徒が興味をもって読めるよう工夫されている。</p>	<p>○即興でやりとりする際に使える表現がまとめられた Let's Talk が各学年で掲載されており、授業の帯活動等で活用できるよう配慮されている。(1年 p.144、2年 p.136、3年 p.120)</p> <p>○各学年のはじめに「英語の学び方ガイド」、要所に「Your Coach」があり、学習上のポイントやコツなどがまとめられており、生徒の主体的な学びを支える工夫がある。(2年 p.6、7、118)</p>	<p>○技術革新や職場体験などの題材を通じて自分の生活やSDGsなど実社会の問題、他教科の学習等と結びつけ、深く学習できるよう工夫されている。(3年 p.60～63、2年 p.75～83)</p> <p>○日常生活の場面で役に立つ表現に特化した Daily Life には、目的に応じた用途で各技能を高める諸活動が準備されている。(1年 p.95、129、2年 p.72)</p>	<p>○二次元コードにより、本文の音声や映像など複数のデジタル教材につながっている。(1年 p.31)</p> <p>○巻末に「Active Words」として、様々なジャンルの単語や場面毎に使えるフレーズがまとめられている。(1年 p.145～、2年 p.137～、3年 p.121～)</p>	<p>○時事を反映した単元テーマや読み物教材、各単元の話や予測したり大まかな内容をつかんだりする導入活動など、生徒が興味をもって主体的に学習できるよう工夫されている。</p> <p>○World Tour として、本編の内容とは別に、海外の文化に触れ視野を広げられるような機会が設けられている。(2年 p.46、47)</p>
L	<p>○各学年の教科書は、1年10Unit (151 ページ)、2年8Unit (159 ページ)、3年6Unit (143 ページ) で構成されている。</p> <p>○学年に応じて 98～463 語の計 5 つの読み物教材があり、1年生にはユーモアのあるものが、2、3年生には人物の心情や信念を読み取るものがそろえられている。(1年 p.120、3年 p.100)</p>	<p>○各Unit末にテーマに沿った自己表現活動と本文内容の補足資料があり、各技能をバランスよく学べる構成になっている。また、年間2、3回、複数の技能を合わせた活動Projectに取り組めるようになっている。(2年 p.82、83、88、89)</p> <p>○1年生のはじめに、小学校の学習内容の振り返りや、小学校の思い出と中学校でしたいことを発表し合う活動の中で文字への意識付けが行える Let's Start が設定されている。(1年 p.8～21)</p>	<p>○各Unit末に Read &amp; Think において、Unitのテーマに沿った長文についての追加情報で生徒の興味・関心を高め、読解力が高まるよう工夫されている。(3年 p.17、59)</p> <p>○全学年とも、表紙裏の見開き一面に各単元の学習テーマと関連する写真及び、教科書で扱う国と地域が示された世界地図が掲載され、生徒の学習意欲が高まるよう工夫されている。(全学年表紙裏側)</p>	<p>○2、3年生では、Unit末にテーマに沿った短い文章を作り、グループ等で発表し合う活動 Express Yourself があり、生徒の表現力や発信力が高まるよう工夫されている。(2年 p.16、3年 p.16)</p> <p>○要所に「Target のまとめ」があり、新出文法事項のまとめと練習問題が掲載されており、生徒が自ら学習を振り返ることができるよう配慮されている。(3年 p.30)</p>	<p>○動物との共生や地方の地域活性化策など、様々な社会的な話題をテーマにしたUnitが複数あり、生徒が身近な社会問題について考えを深められるよう工夫されている。(3年 p.19、p.75)</p> <p>○「こんなときどう言うの？」や「数の読み方」など、日常会話でよく使う英語表現が分かりやすくコンパクトにまとめられている。(2年 p.6、3年 p.6、118)</p>	<p>○二次元コードにより、本文の音声や映像など複数のデジタル教材につながっている。(1年 p.4)</p> <p>○巻末付録には発音とつづりのルールが解説されている。また Word Box には Unit で学習した内容にあった英語表現がまとめてあり、自己表現活動に活用できるようになっている。(1年 p.126、2年 p.130、3年 p.113)</p>	<p>○将来の夢や身近な地域の活動が題材として取り上げられ、内容をより自分のこととして捉えられるよう工夫されている。</p> <p>○題材として漫画やアニメなど生徒が取り組みやすい内容や、地域の活性化や海外の文化など様々なテーマが取り上げられ、身の回りの社会から国際社会まで目を向けられるような内容を扱っている。</p>

# 選 定 に 必 要 な 資 料

種目名 : 道徳 No. ( 1 )

記号	選定に必要な資料の観点					総括	
	1 内容、程度、分量等	2. 教材の選択や構成等	3. 興味・関心への配慮等	4. 教科の特性、地域の実態や課題への適合等	5. 各教科及び実生活との関連についての工夫		6. その他
A	<p>○28の教材を35時間で学習するように構成されている。5つの付録教材は活動を中心とした教材の内容項目と対応しており、差し替えることも可能である。</p> <p>○どの内容も、1時間で終結できる読みやすい分量となっている。</p> <p>○教科書の冒頭に、道徳の授業のオリエンテーション教材が用意されており、授業の流れを体験し、学びの意欲を高めるよう工夫されている。</p>	<p>○4～5月は、いじめ問題、9月は生命尊重を考える内容を2～3時間連続でじっくりと学習するように構成されている。</p> <p>○教材の見出しに、ねらいとなる内容項目に関連したテーマを示しており、見通しをもって学習できるように工夫されている。</p> <p>○1年生の付録教材には生徒になじみのある「橋の上のおおかみ」が掲載されている。</p>	<p>○巻末付録に用意されている心情円を使うことで、より活発な話し合いを行うよう工夫されている。</p> <p>○教材によっては、冒頭に、テーマに関連のある漫画のコマを掲載し、学習のイメージをもてるように工夫されている。</p> <p>○場面や展開を理解しやすいように、実際の人物や風景の写真やイラストが程よく掲載されている。</p>	<p>○様々な立場からいじめについて考えるような工夫がなされている。</p> <p>○生徒たちにとって、身近で現代的な課題である「情報モラルと友情」をテーマにした教材が掲載されている。</p> <p>○各学年「Action!」のページがあり、体験的な学習を取り入れることで、学習内容を自分のこととして捉えて考えを深めるよう工夫されている。</p>	<p>○教材の導入部分に関連する教科等のマークがあり、教科等と連携した学習ができるようにしている。</p> <p>○巻末にテーマで振り返ることができるように教材が整理されており、キャリア教育や福祉・ボランティア等と関連づけることができるようにしている。</p> <p>○2年生では「読書で広げる道徳」が掲載されており、学びが広がるよう工夫されている。 (2年 p. 189)</p>	<p>○考え、議論するためのツールとしてホワイトボード用紙が用意されている。</p> <p>○全学年、巻末付録に郷土のことを考える資料が掲載されており、郷土の発展を支える人物や、伝統・文化、技術や産業について考えることができる。</p> <p>○教材によっては、インターネットを通して、学習に関連する資料を活用することができ、学習内容を深めることができる。</p>	<p>○十分な話し合いの時間を確保するために、各教材の終末には、「考えよう」「自分を見つめよう」という設問が1つずつある。</p> <p>○新聞を教材化したものや漫画を使った教材など、様々な視点から多面的・多角的に考えられるよう工夫されている。</p>
G	<p>○30時間分の教材と、5時間分の補充教材が用意されている。</p> <p>○1年生の道徳の授業を生命の誕生をたたえる教材から始めている。明るく前向きな内容の教材を通して、お互いを認めあう気持ちを育み、学級開きの役割も果たしている。</p> <p>○全学年の冒頭の「道徳で学びを深めるために」では、道徳科でどのように学ぶかが記されており、生徒が主体的に学ぶ工夫がされている。</p>	<p>○教材名の下に導入となる発問が用意されており、生徒が見通しをもって学習できるように工夫されている。</p> <p>○「生命の尊さ」「いじめや差別のない社会」については複数の教材をユニット化して、各学年2～3時間まとめて学習するよう配慮されている。</p>	<p>○「けやき中」、「雅司、由紀、美佐」シリーズが3年間通して掲載されており、同世代の主人公を通して、自分自身を見つめる工夫がしてある。 (1年 p. 94、154)</p> <p>○各学年ともインパクトのある写真が大きく掲載されており、生徒の興味や関心を高める工夫がされている。 (3年 p. 56～57)</p>	<p>○情報モラルに関する教材を通して、コミュニケーションとしての教材機器とのよりよい付き合い方を考え、実践していく力を養うよう配慮されている。 (1年 p. 30、2年 p. 70、3年 p. 22)</p> <p>○各学年「やってみよう」のページがあり、役割演技を取り入れたり、日々の体験を想起して話し合ったりするように工夫されている。 (3年 p. 99)</p>	<p>○巻頭には7つのテーマごとに教材が整理されており、伝統・文化についての学習も関連づけるようにしている。</p> <p>○さまざまな学校行事や体験活動との関連を図りやすいように、教材が工夫されている。 (1年 p. 72、2年 p. 98、3年 p. 140)</p>	<p>○巻末に「都道府県にゆかりのある人物のその言葉」が掲載されており、郷土について理解が深まるよう配慮されている。</p> <p>○教材によっては、教科書での学びをさらに深め、充実させるウェブサイトを「学びリンク」が用意されている。</p> <p>○中学校での学習にスムーズに移行できるように、1年生の1～10までの教材は本文の文字を大きくし、読みやすくしている。</p>	<p>○各教材の終末の「学びの道しるべ」には、3つの発問が記されており、教材理解だけではなく、さまざまな角度から考えたり話し合ったりできるように工夫されている。</p> <p>○巻末には教材ごとに道徳の学びを記録する欄と学期、学年ごとに道徳の学びを振り返るページがあり、自分を見つめることができるよう工夫されている。</p> <p>○巻末の振り返り欄には保護者が記入する欄もあり、家庭とのつながりも配慮されている。</p>

# 選 定 に 必 要 な 資 料

種目名 : 道徳 No. ( 2 )

記号	選定に必要な資料の観点					総括	
	1 内容、程度、分量等	2. 教材の選択や構成等	3. 興味・関心への配慮等	4. 教科の特性、地域の実態や課題への適合等	5. 各教科及び実生活との関連についての工夫		6. その他
I	<p>○1 時間での扱いが可能な 31 教材と付録の 4 教材の 35 教材が配されている。31 教材のうち 4 教材は複数時間で扱うこともできる。</p> <p>○1 年間のスタートにあたって、目的意識をもって授業を迎えられるよう、各学年の第 1 教材に「道徳の授業を始めよう!」を、最終教材に 1 年間の振り返りのページが設けてある。</p>	<p>○教材名の横に内容項目のキーワードを示し、見通しをもって学習できるよう工夫されている。</p> <p>○教材の終わりの発問は、教材との区切りが分かりやすいように横組みで提示している。</p> <p>○年間を 3 つのシーズン(まとまり)に区切り、それぞれに生徒の発達段階を踏まえた学びのテーマを設けている。</p> <p>○各シーズンの中には、テーマをもったいくつかのユニットに分かれている。</p>	<p>○臨場感の溢れる写真が数多く掲載されている。(1 年 p. 115、2 年 p. 108、3 年 p. 48) また、イラストも大きく、イラストや写真から感じ取ったことをもとに授業を展開していくことも可能になっている。</p> <p>○巻末には有名人直筆のメッセージが掲載されている。</p>	<p>○いじめ問題と情報モラルについては、全学年に「深めたいむ」を設け、自分との関わりで考えられるように配慮されている。(1 年 p. 78、2 年 p. 37、3 年 p. 37)</p> <p>○他者とよりよく関わることができるように、「人と人との関係づくり」が掲載されている。</p>	<p>○巻末には教材別のテーマ一覧表が掲載されており、現在または将来と関わりのある 7 つのテーマについて教材との関連を示している。</p> <p>○震災を題材とした教材により、「常に備え、未来に伝える」という意識をもつための配慮がなされている。(1 年 p. 55、2 年 p. 69、3 年 p. 26)</p> <p>○各教材の終末には、「つなげよう」という問いがあり、様々な学びへと広げる工夫がされており、教育活動全体での道徳教育への配慮がなされている。</p>	<p>○巻末には、日本の郷土玩具、日本各地の世界遺産、日本の先駆者たちが紹介されており、郷土についての理解を深める工夫がされている。</p> <p>○巻末にはシーズンごとに使える「学びの記録」が用意されており、自分の成長が感じられる工夫がされている。</p> <p>○教材タイトルの下にある QA コードを読み取ると、関連した写真や動画を見ることができ、生徒の興味・関心を深めるよう工夫されている。</p>	<p>○各教材の終末には発問の手引きと問いや呼びかけが提示されており、多面的・多角的な見方や考え方をできるように配慮されている。</p> <p>○多岐に渡るテーマの読み物教材に加え、問題解決的な学習を取り入れた教材、漫画や資料を読んで考える教材など様々な形態の教材から多様な学びを引き出す工夫がされている。(1 年 p. 50、2 年 p. 145、3 年 p. 84)</p>
O	<p>○35 時間分の教材とさまざまなコラムが用意され、生徒の発達の段階に応じて、内容と文字量が考慮されている。</p> <p>○巻頭オリエンテーションのページでは、道徳科で学ぶことや学び方が分かりやすく示され、生徒が主体的に学習を進められるよう工夫されている。</p>	<p>○1 年間の「学習の流れ」が見えるよう、1 年間で 3 つのまとまりに区切り、適切な時期に学ぶべき題材が学習できるよう配慮しながら教材を配列している。</p> <p>○『いじめ』と向き合う「よりよい社会と私たち」では、いじめの問題や、よりよい社会の実現について自分たちの問題として主体的に考えていけるよう、多様な教材やコラムをユニット化し、年間で複数配置されている。(2 年 p. 10~20、28~44)</p>	<p>○教材の初めに、登場人物をイラストや写真で紹介することで、生徒の興味・関心を高めるとともに、内容把握を助け、活動の時間を確保できるよう工夫されている。</p> <p>○脚注も多く、写真、イラスト、図や表、地図が効果的に配置されている。</p>	<p>○人権尊重の精神と生命尊重を基本に、「いじめの防止」「安全の確保」「情報モラル」などの現代的・社会的課題への対応を重視した教材が用意されている。</p> <p>○「問題解決的な学習」「体験的な学習」に適した教材のページには、「学習の進め方」が例示され、多様な学習に対応できるよう工夫されている。(1 年 p. 40~41、64~65)</p>	<p>○巻末の「内容項目別教材一覧」には、各教材のテーマのほか、他教科・領域等との関連が示されている。</p> <p>○道徳科以外の学習での活用や他教科との関連を意識した「プラットフォーム」、教材の内容理解に役立つ「参考」、生き方のヒントが示されている「私の生き方」など多彩なコラムが用意されている。</p>	<p>○B 判の本冊と別冊「道徳ノート」が付属として付き、自分の考えなどを書くことで、道徳科の学びを積み重ね、自らの成長の様子が継続的に把握できるよう工夫されている。</p> <p>○「アイコン」が配置された教材には、授業の導入や展開で効果的に活用できる参考動画や関連画像などがインターネット上に準備されている。</p>	<p>○「気づく」「考え、議論する、深める」「見つめる、生かす」という 3 つのステップで 1 時間の学習の流れが見えるよう工夫され、特に、最後のステップでは「自分に+1」として、この授業で学んだことを前向きに生かすための発問例が示されている。</p> <p>○3 年間の発達の段階を考慮し、キャリア教育の理念に配慮しながら、学年ごとのテーマ(1 年「であう」、2 年「みつめる」、3 年「ひらく」)が設定されている。</p>

# 選 定 に 必 要 な 資 料

種目名 : 道徳 No. ( 3 )

記号	選定に必要な資料の観点						総括
	1 内容、程度、分量等	2. 教材の選択や構成等	3. 興味・関心への配慮等	4. 教科の特性、地域の実態や課題への適合等	5. 各教科及び実生活との関連についての工夫	6. その他	
P	<p>○35 時間分の教材がバランスよく配列されている。</p> <p>○巻頭の「新しい扉を開く」では、考えを深めるための四つのステップを紹介し、見直しをもって学習に臨めるよう配慮されている。</p>	<p>○自らの生き方を見つめ、よりよく生きるための意欲を促そうと、さまざまな分野で活躍している人や、後世に名を遺した偉人の生き方に触れる教材が多数用意されている。</p> <p>○ユニット学習として、テーマに沿った教材を連続して掲載し、そのテーマについて多面的・多角的に学び、考えが深められるよう工夫されている。</p>	<p>○生徒の興味を引き出しやすいよう、読み物資料だけでなく、複数の意見文の比較、吹き出しを用いた話合い、紙面全体に広がる写真や漫画などを用いている。</p> <p>(1 年 p. 20～22、p. 120～121)</p> <p>○すべての教材の前にキーフレーズを入れて、生徒が教材に興味をもてるよう工夫されている。</p>	<p>○「生命尊重」と「いじめ防止」を重点テーマとし、特に生命に関わる内容の教材には「いのち」のマークをつけ、多面的に生命について考えられるよう工夫されている。</p> <p>○「情報モラル」については、中学校 3 学年を通して系統的に学べるよう、各学年で発達段階に合わせてテーマ設定するなど配慮されている。</p>	<p>○巻頭「さまざまなテーマで学ぼう」では、各教材とテーマの関連が分かりやすく示されている。</p> <p>○特設ページ「クローズアッププラス」で「メンタルトレーニング」「アンガーマネジメント」「自己肯定感」を取り入れ、実生活に役立てられるよう工夫されている。</p> <p>(2 年 p. 93、p. 55、p. 85)</p>	<p>○AB 判サイズで視覚的にゆったりとした紙面になっている。</p> <p>○デジタルコンテンツとして、二次元コードを使ってインターネット上の補助教材にアクセスし、教材に関連する写真や音声により学びを深めたり広げたりできるよう工夫されている。</p>	<p>○巻頭に自分を見つめる「マイプロフィール」、巻末に心の成長を振り返る「心の四季」、各学期の振り返りができる「学びの記録」を配置し、1 年間の自分の成長を感じられるよう工夫されている。</p> <p>○教材末の「考えよう」で、教材を基にこれからの生き方について考えるきっかけとなる質問を示し、続く「深めよう」で、自分の考えを深め広げるために考えたことを記入する書き込み欄を設けている。</p>
T	<p>○本冊には 35 時間分の教材があるほか、別冊「中学生の道徳ノート」には、授業の進め方に応じて、柔軟に活用できる資料も豊富に用意されている。</p> <p>○本冊の巻頭「道徳の時間とは」では、学年に応じて道徳の時間との向き合い方を示し、別冊巻末の折り返しには、授業の振り返りを行うチェック欄や自分の目標や課題を振り返る書き込み欄がある「心のおしおり」が用意されている。</p>	<p>○「夜のくだもの屋」「美しい母の顔」などこれまで大切にしてきた感動教材、名作教材を中心に、人間のよさや気高さやすばらしさを感じることで、生徒の興味・関心を高められるよう工夫されている。</p> <p>(1 年 p. 68～73、86～90)</p> <p>○本冊では、教材をもとに考えたり話し合ったりできるよう、また、別冊では、書くことを通して道徳的思考を深められるよう、2 冊を同時に使うことの効果を考えながら構成されている。</p>	<p>○「友情・信頼」に関する教材では、生徒と同年代の主人公の関係を成長とともに 3 年間追いながら考えることのできる教材を掲載することで、生徒の興味・関心を高められるよう工夫されている。</p> <p>(1 年 p. 24～28、2 年 p. 132～137、3 年 p. 72～77)</p> <p>○すべての教材の最後には、自らの考え方を広げる手がかりとなるよう、先人や現在活躍している著名人の言葉が掲載されている。</p>	<p>○「キャリア教育」「防災教育」「福祉に関する教育」など、現代的な課題と向き合う教材を厳選し、特に「生命尊重」と「いじめ防止・人権尊重」を重点的に扱えるよう工夫されている。</p> <p>○教材の学びを深める特集「thinking」が 3 編設けられているほか、巻末には「情報モラル」「持続可能な社会の実現」等の学びを深める特設ページが設けられている。</p>	<p>○巻末の「内容一覧」により、各教材が、他教科・領域・現代的な課題等とどうかかわっているのか捉えられるようになっている。</p> <p>○別冊「道徳ノート」に掲載されている資料は、先人の逸話や言葉や詩のほか、図や表、統計資料など、社会や生活の問題と結びつけながら、また、自分自身の体験や学校生活を振り返りながら、思考を深められるよう工夫されている。</p>	<p>○AB 判で、紙面にゆとりをもたせ、圧迫感のない構成とし、1 年生は小学校からの系統性を考慮し、本文の文字が大きくになっている。</p> <p>○「インターネット」マークのある教材では、巻頭の二次元コードにより関連するサイトや動画などで学習を広げ深められるよう工夫されている。</p>	<p>○本冊の教材ごとに「考える・話し合う」を設け、学習の手がかりや考えを広げたり深めたりするための問いが設定されている。</p> <p>○別冊「道徳ノート」には、授業で考えたことを記述するページ「学習の記録」が用意され、授業者の構想に応じて各内容や場面を設定しながら年間 35 時間の学習を時系列に沿って記録することができるよう工夫されている。</p>

# 選 定 に 必 要 な 資 料

種目名 : 道徳 No. ( 3 )

記号	選 定 に 必 要 な 資 料 の 観 点						総 括
	1 内容、程度、分量等	2. 教材の選択や構成等	3. 興味・関心への配慮等	4. 教科の特性、地域の実態や課題への適合等	5. 各教科及び実生活との関連についての工夫	6. その他	
U	見本本の送付がありませんでした。						